



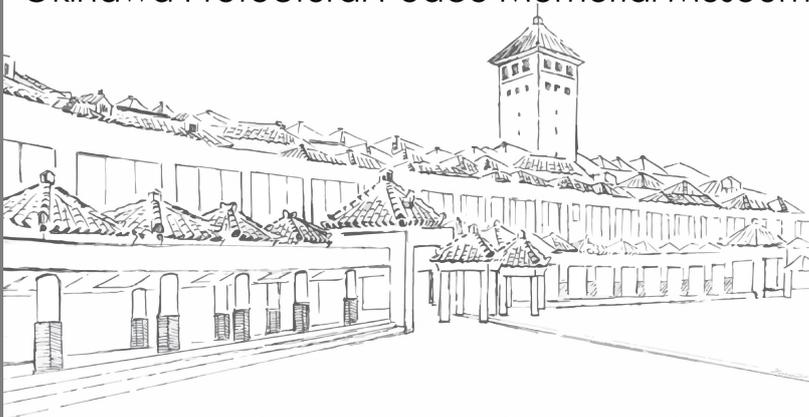
2020(令和2)年度

沖縄県平和祈念資料館年報

第21号

沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



沖縄県平和祈念資料館 設立理念

1945年3月末、史上まれにみる激烈な戦火がこの島々に襲ってきました。90日におよぶ鉄の暴風は島々の山容を変え、文化遺産のほとんどを破壊し、20数万の尊い人命を奪い去りました。沖縄戦は日本に於ける唯一の県民を総動員した地上戦であり、アジア・太平洋戦争で最大規模の戦闘でありました。

沖縄戦の何よりの特徴は、軍人よりも一般住民の戦死者がはるかに上まわっていることにあり、その数は10数万におよびました。ある者は砲弾で吹き飛ばされ、ある者は追いつめられて自ら命を断たされ、ある者は飢えとマラリアで倒れ、また、敗走する自国軍隊の犠牲にされる者もありました。私たち沖縄県民は、想像を絶する極限状況の中で戦争の不条理と残酷さを身をもって体験しました。

この戦争の体験こそ、とりもなおさず戦後沖縄の人々が米国の軍事支配の重圧に抗しつつ、つちかってきた沖縄のこころの原点であります。

“沖縄のこころ”とは人間の尊厳を何よりも重くみて、戦争につながる一切の行為を否定し、平和を求め、人間性の発露である文化をこよなく愛する心であります。私たちは戦争の犠牲になった多くの霊を弔い、沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、全世界の人々に私たちの心を訴え、もって恒久平和の樹立に寄与するため、ここに県民個々の戦争体験を結集して、沖縄県平和祈念資料館を設立いたします。

1975年(2000年4月1日一部修正) 沖縄県

表紙：令和2年度 第31回児童・生徒の平和メッセージ

図画部門 小学校低学年の部

最優秀賞「平和」

(みんながたのしく、なかよく、くらしている)

図画/石垣市立宮良小学校 1年 みやら えいゆう 宮良 永悠

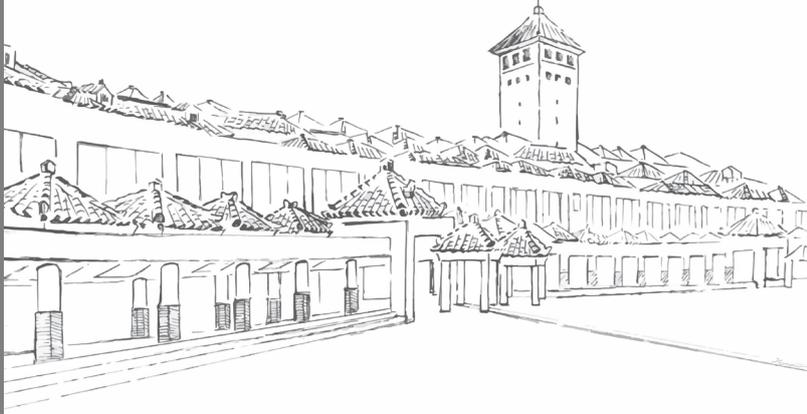
■ 2020(令和2)年度

■ 沖縄県平和祈念資料館年報

■ 第21号

■ 沖縄県平和祈念資料館

Okinawa Prefectural Peace Memorial Museum



はじめに

沖縄県平和祈念資料館は開館以来、沖縄戦の実相・教訓を後世へ正しく伝え、平和を大切にする「沖縄のこころ」を世界へ発信し、恒久平和の実現に寄与するために様々な取り組みを行っています。

令和2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、社会や人々の生活に大きな影響を及ぼし、沖縄戦終結から75年という節目に平和学習にも大きな影を落としました。

当館においても、当初事業計画の大幅な変更、84日間の臨時休館や来館者の約9割減少など、厳しい状況下での運営でありましたが、感染対策を徹底した中での入館者受け入れや事業の規模縮小・日程変更等の対応を行い、各種事業に取り組んで参りました。

戦後75年の節目に、「戦の語り部功労者感謝状贈呈式及びパネル展」を開催しました。本事業は、沖縄戦を経験し、その実相や歴史的教訓を語り継いできた118名の「戦の語り部」の皆様へ感謝状を贈呈するとともに、これまでの活動内容と次世代へのメッセージを紹介したパネルを展示しました。県民が改めて沖縄戦を考える機会と平和への思いを新たにす契機となりました。

また、今年度から終戦直後の沖縄の復興の記憶を次世代に継承し平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に強く発信することを目的に、「戦後の戦争体験者証言映像収録・翻訳事業」として、戦後沖縄の証言映像を収録しました。

今年、30回目を迎えた「児童・生徒の平和メッセージ」事業は、コロナ禍で学校の長期休業の中でも、各学校、家庭、地域でしっかりと平和学習に取り組み、「図画」「作文」「詩」の3部門で、2,593点の作品応募がありました。「詩」部門の高等学校の部最優秀作品「あなたがあの時」は、「沖縄全戦没者追悼式」において朗読され、多くの方々に感動を与えました。

展示活動では、特別展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』～滋賀県瀬田国民学校五年智組～1944-1945」を開催しました。1944年、少女達が描いた絵日記は、子どもたちが当時受けていた戦時教育や戦時中の生活の様子が色濃く表現されています。当時、日本本土のどこにでもありそうな農村の子どもたちさえ、戦争に向き合い、日本の勝利を信じて日々戦っていたことや戦時教育の影響力の大きさを感じることができ、平和への思いを深めてもらう展示会となりました。

子ども・プロセス展示室では、「沖縄戦と第二次世界大戦の終結」「戦争と人々の暮らし」「沖縄の民間収容所～米軍に捕らえられた30万余の人びと～」 「戦時下の子どもたち～小学校から国民学校へ～」をテーマに、子どもたちの視点から戦争や平和学習に取り組めるように工夫した企画展を開催しました。

さらに2階ギャラリーにおいて、「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」「アカナちゃんと歩いてみよう！平和祈念公園」などのミニ展示を行いました。

八重山平和祈念館では、八重山地域の戦争体験を絵画で描いた27作品を展示した「体験者の描く戦争」や島ごとの写真・絵・証言等を通して八重山地域全体の戦争体験を学ぶ、戦後75年企画展「写真・映像・証言で見る 八重山の戦争」を開催しました。

当館及び八重山平和祈念館は、「沖縄戦」の実相を通して世界の平和について考える“学びの場”として、今後とも多くの皆さまに利活用していただくことを願っています。また、活動状況をまとめたこの冊子も広くご活用いただければと思います。

2021（令和3）年10月

沖縄県平和祈念資料館
館長 雉鼻 章郎

目 次

沖縄県平和祈念資料館設立理念

はじめに

I 概要

1 沿革	1
2 日誌（抄）2020（令和2）年度	6
3 施設	8
4 組織	11
5 2020（令和2）年度 歳入歳出決算（本館及び分館）	16
6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会	18

II 調査研究事業

1 第27回日本平和博物館会議	19
-----------------	----

III 展示企画事業

1 常設展	20
2 企画展	22
(1) 戦の語り部功労者感謝状贈呈式及びパネル展	22
(2) 2020（令和2）年度特別企画展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』 ～滋賀県瀬田国民学校五年智組～ 1944年－1945」	23
(3) 子ども・プロセス企画展	24
(4) 2020（令和2）年度 ギャラリー展	26

IV 資料収集・活用事業

1 新収蔵品目録	27
(1) 実物資料	27
(2) 図書資料	27
2 資料貸出実績	28
(1) 資料の貸出	28
(2) 証言映像の貸出	30
3 撮影・掲載等利用一覧	30

V 教育普及事業

1 教育普及行事	34
(1) 第30回「児童・生徒の平和メッセージ」事業	34
(2) 親子ビデオ上映会及び慰霊の日沖縄戦関連ビデオ上映会	36
(3) 夏休み子ども向け企画	36
2 教育機関との連携	37
(1) 平和講話	37
(2) 離島・遠隔地講師派遣事業	37
(3) 沖縄少年院連携事業	37
(4) 大学連携事業	37
(5) 博物館学芸員実習	38

I
概

要

II
事
調
査
研
究
業
務

III
事
展
示
企
画
業
務

IV
活
用
事
業
・
資
料
収
集

V
事
教
育
普
及
業
務

VI
出
広
報
活
動
等
・
版
活
動

VII
事
そ
の
他
の
業
務

VIII
入
館
者
状
況

IX
八
重
山
平
和
祈
念
館

X
活
友
動
の
報
告
会

XI
規
則
・
要
綱
・
条
例

XII
入
館
度
状
況
別

3	講座・講習会・研修会	39
(1)	平和講話等利用案内説明会	39
(2)	県立学校初任者研修会における講義	39
(3)	幼稚園・認定こども園初任者研修会における講義	39
(4)	那覇市教育事務所 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修会における講義、館内視察研修	39
(5)	島尻教育事務所 初任者研修における講義、館内視察研修	40
(6)	沖縄県新採用職員研修における講義、館内視察研修	40
(7)	沖縄県平和祈念資料館講習会	40
VI	広報活動・出版等	
1	刊行物	41
VII	その他の事業	
1	2020（令和2）年度 沖縄平和啓発プロモーション事業	42
2	事業成果	42
VIII	入館者状況	
1	月別入館者数	43
2	年度別入館者数	44
3	月別県内・県外学校、その他団体見学者（小人）観覧状況	45
4	市町村別団体入館者数	46
5	都道府県別団体入館者数	47
IX	八重山平和祈念館	
1	概要	48
2	施設	50
3	事業概要	52
(1)	展示活動	52
(2)	平和教育活動	53
(3)	調査研究活動	54
4	2020（令和2）年度 月別入館者数	56
X	沖縄県平和祈念資料館友の会	
1	活動内容	57
2	申込方法	57
3	申込条件	57
4	2020（令和2）年度 講話・ガイド活動実績件数	57
5	2020（令和2）年度 活動紹介	58
XI	関係条例・規則・要綱	
1	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例	59
2	沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則	62
3	八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱	68
4	沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項	69
5	沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項	83
XII	沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況	88

I 概要

1 沿革

[沖縄県立平和祈念資料館] (旧館)

1972 (昭和47) 年沖縄県援護課を主管に資料館構想がつくられ、1974 (昭和49) 年に鉄筋コンクリート2階建て (延床面積1,003㎡) の館落成。管理運営を財団法人沖縄県戦没者慰霊奉賛会に委託して1975 (昭和50) 年6月11日に開館した。以来、沖縄戦について学び、平和について考える施設として活動を続ける。2000 (平成12) 年3月31日に閉館。

[沖縄県平和祈念資料館] (新館)

旧資料館の「設立理念」と「展示むすびのことば」の精神を継承し、平和の創造と人類の恒久平和に寄与する拠点的な施設として移転改築した。2000 (平成12) 年3月29日に開館記念式典が挙行され、4月1日に開館。

[歴代館長]

外間 盛治	2000 (平成12) 年4月～2002 (平成14) 年3月
阿波根 昌安	2002 (平成14) 年4月～2003 (平成15) 年3月
島袋 記美子	2003 (平成15) 年4月～2005 (平成17) 年3月
川満 茂雄	2005 (平成17) 年4月～2007 (平成19) 年3月
宮城 智子	2007 (平成19) 年4月～2009 (平成21) 年3月
大川 芳子	2009 (平成21) 年4月～2011 (平成23) 年3月
呉屋 禮子	2011 (平成23) 年4月～2013 (平成25) 年3月
上與那原美和子	2013 (平成25) 年4月～2014 (平成26) 年3月
國仲 功	2014 (平成26) 年4月～2016 (平成28) 年3月
原田 直美	2016 (平成28) 年4月～2019 (平成31) 年3月
外間 裕朋	2019 (平成31) 年4月～2021 (令和3) 年3月
雉鼻 章郎	2021 (令和3) 年4月～

[主な事項]

1993 (平成5) 年度	12月7日	「平和祈念資料館移転改築事業」基本計画及び展示基本設計調査業務委託契約を沖縄県平和祈念資料館移転改築事業・基本計画及び展示設計調査業務共同企業体 (商工美術株) (株) 沖縄ノムラ) と締結する。
	1月31日	第1回「平和祈念資料館移転改築事業」推進検討委員会開催
1994 (平成6) 年度	10月12日	第1回「平和祈念資料館移転改築基本計画」検討委員会開催
1995 (平成7) 年度	3月28日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 設計プロポーザル・エスキス競技最優秀賞team DREAMに決定
1996 (平成8) 年度	6月25日	沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 展示設計プロポーザル競技により (株) 乃村工藝社を設計者に選定
	9月26日	第1回沖縄県平和祈念資料館 (仮称) 監修委員会開催

1997（平成9）年	10月21日	県議会：建設工事請負契約議決
	10月22日	沖縄県平和祈念資料館（仮称）建設工事着工
	12月22日	県議会：展示製作委託業務契約議決
	3月17日	沖縄県平和祈念資料館（仮称）・資料収集広報キャンペーンを開催（巡回展、講演会）
1999（平成11）年度	6月30日	沖縄県平和祈念資料館（仮称）建設工事完了
	3月29日	沖縄県平和祈念資料館 開館記念式典・内覧会挙行
	3月30日	沖縄県平和祈念資料館監修委員会（最終）開催
	3月31日	沖縄県立平和祈念資料館（旧資料館）閉館
2000（平成12）年度	4月1日	開館（一般公開始まる）
	5月28日	入館者10万人達成
	7月14日	「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」開催 主催：広島市、長崎市（～27日）
	7月21日	九州・沖縄サミット首脳会合沖縄開催（～23日） アメリカ大統領「平和の礎」訪問
	3月23日	『沖縄県平和祈念資料館総合案内』発刊
3月30日	『資料館学習の手引き』発刊	
2001年（平成13）年	4月25日	入館者50万人達成
2002（平成14）年度	10月18日	入館者100万人達成
2003（平成15）年度	12月11日	入館者150万人達成
	1月10日	「ピース&ヒューマンライツフェスティバル」開催
2004（平成16）年度	7月24日	第1回ボランティア養成講座開始（～12月18日）平成18年度まで
2005（平成17）年度	4月7日	入館者200万人達成
2006（平成18）年度	4月12日	沖縄県新採用職員研修
	6月1日	入館者250万人達成
2007（平成19）年度	6月21日	ミュージアムショップ開店（運営：沖縄県平和祈念財団）
	7月6日	入館者300万人達成
2008（平成20）年度	4月23日	八重山平和祈念館の正面展示パネル刷新
	10月9日	入館者350万人達成
2009（平成21）年度	5月19日	「沖縄・カンボジア『平和博物館』協力」事業（～2012年3月）
	11月18日	入館者400万人達成
	12月22日	常設展示のキャプション整備（英文表記追加）
	12月23日	常設展示室等映像機器等入れ替え（～3月31日）
	1月25日	特別収蔵庫空調機修繕入れ替え（～3月19日）

2010（平成22）年度	4月1日	収蔵品等整理業務委託（～ H24年3月31日）
	7月15日	ピースメモリアルグッズ開発事業委託（～ H24年3月31日）
	7月28日	皇太子行啓
	10月10日	沖縄県平和祈念資料館ジュニア版ガイドブック発刊
	10月30日	『詩集 写真の中の少年』を刊行
2011（平成23）年度	2月3日	入館者450万人達成
	10月20日	人数カウンター設置工事開始（～ 10月30日）
	3月6日	ノーベル科学賞受賞者鈴木章氏来館
2012（平成24）年度	3月7日	合同企画展「2つの平和博物館の平和創造展」カンボジア国立トゥール・スレン虐殺博物館にて開催
	5月28日	入館者500万人達成
	7月13日	「子や孫につなぐ平和のウミイ事業」（～ H24年3月27日）
2013（平成25）年度	12月1日	沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業（～ 2015年3月）
	10月29日	入館者550万人達成
	2月12日	キャロライン・ケネディ駐日アメリカ合衆国大使来館
2014（平成26）年度	2月7日	入館者600万人達成
2015（平成27）年度	10月10日	デービッド・イゲ ハワイ州知事来館
	10月16日	「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業 JICA理事長賞受賞
	3月1日	「沖縄のこころ」平和発信強化事業 多言語タブレット等運用開始
2016（平成28）年度	6月15日	入館者650万人達成
	7月	沖縄・カンボジア「博物館から発信する平和教育普及プロジェクト」事業 ※JICA草の根技術協力事業（～ 2017年6月）
2017（平成29）年度	4月19日	李俊揆（イ ジュンギョ）駐日大韓民特命全権大使視察
	11月9日	入館者700万人達成
	11月13日	ウィリアム・F・ハガティ駐日アメリカ合衆国大使視察
2018（平成30）年度	6月22日	韓国済州島済州道立美術館のギム・シュンギ館長一行来館
	7月20日	ハリール・アルムーサウィー駐日イラク大使視察
2019（令和1）年度	4月20日	入館者750万人達成
	12月28日	マハティール・ビン・モハマド首相（マレーシア）視察
2020（令和2）年度	10月17日	戦の語り部功労者に対する感謝状贈呈式
	12月10日	ミハイル Y. ガルージン 駐日ロシア連邦大使視察

[主な企画展等、その他催し]

- 2000（平成12）年度 企画展「寄贈・寄託展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展
- 2001（平成13）年度 特別企画展「収蔵品展」、児童・生徒の平和メッセージ展、ミニ企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会（2回）
- 2002（平成14）年度 企画展「占領下のこども文化展」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2003（平成15）年度 企画展「銃後を護れー戦時下の暮らしと情報統制ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会
- 2004（平成16）年度 特別企画展「寄贈・寄託品展ー語りかける歴史の証言者たちー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2005（平成17）年度 特別企画展「沖縄戦と疎開ー引き裂かれた戦時下の家族ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども向け企画展（3回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2006（平成18）年度 特別企画展「沖縄戦における住民動員ー戦時下の根こそぎ動員と失われた明日ー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、ボランティア養成講座、人権ラブソングコンテスト
- 2007（平成19）年度 特別企画展「沖縄戦と戦争遺跡ー戦世（イクサ）の真実を伝えるためにー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座（2回）
- 2008（平成20）年度 特別企画展「カンポークエヌクサーー沖縄戦後混乱から復興へー」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、人権ラブソングコンテスト、沖縄戦講座、新収蔵品展
- 2009（平成21）年度 特別企画展「イクサニューワラビ～戦時下の教育と子どもたち～」、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「ひびけ!!平和創造のうた」、新収蔵品展
- 2010（平成22）年度 特別企画展『「沖縄のこころを世界へ」ー過去をつたえ、現在をみつめ、未来をひらくー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「平和音楽祭2010」（20回）、新収蔵品展、「平和教育の公開授業とパネルディスカッション」、「『NAHAマラソンの道』～走る道、逃げる道～」展、「子ども・未来・メッセージ展」（台湾・沖縄交流事業）
- 2011（平成23）年度 特別企画展『「アメリカ世（ユ）の沖縄」ー逞しくしたたかに生きてきたき

	ウチナーンチュー』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、新収蔵品展、大城弘明写真展「沖縄・終わらない戦後」
2012（平成24）年度	特別企画展『沖縄人が見た戦世とアメリカ世』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座、「絵本が語りつぐ戦世」展
2013（平成25）年度	特別企画展『ハワイ日系移民が見た戦争と沖縄』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会、沖縄戦講座「ハワイ日系二世兵が見た戦争と沖縄」、新収蔵品展、「カンボジア光と影Ⅱ」展
2014（平成26）年度	特別企画展『南洋の群星が見た理想郷と戦』、児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）、沖縄県平和祈念資料館講習会沖縄戦講座「日系二世ウチナーンチュが見た戦中・戦後」、「平成26年度子や孫につなぐ平和のウメイ事業成果」報告展、企画展「絵本原画展及びオーサーストーク」「日系米国人版戦争体験収録事業」報告展、「カンボジア光と影Ⅲ」展
2015（平成27）年度	特別企画展『ウチナーンチュが見た 戦前・戦時下の台湾・フィリピン』児童・生徒の平和メッセージ展、子ども・プロセス企画展（5回）沖縄戦講座「東アジアの歴史と展望」、沖縄県平和祈念資料館講習会企画展「戦時中の手紙・手記から見る家族の絆」展、企画展「新収蔵品展（平成25年度・26年度寄贈）」、日本平和博物館会議「戦後70年共同展示」巡回展、沖縄県博物館協会総会・春の研修会、全県高等学校生徒代表者会議
2016（平成28）年度	特別企画展『ウチナーンチュが見た満洲～『旧満州国』・『偽満洲国』～』児童・生徒の平和メッセージ展（県内5カ所、国外1カ所）子ども・プロセス企画展（5回）、特別講座「“回想”～遙かなる大地、満洲～」沖縄県平和祈念資料館講習会
2017（平成29）年度	特別企画展『戦世と沖縄芝居 ～夢に見る沖縄 元姿やしが～』児童・生徒の平和メッセージ展（県内5カ所、国外1カ所）、特別講座「戦世と沖縄文化－文化財と芝居の視点から－」、企画展「新収蔵品展（平成27年度・28年度寄贈）」、新企画展「ギャラリー展」（5回）、子ども・プロセス企画展（5回）沖縄県平和祈念資料館講習会、第24回日本平和博物館会議（当館開催）
2018（平成30）年度	特別企画展「沖縄県民の戦争被害と次代への継承」 児童・生徒の平和メッセージ展（県内4カ所、国外1カ所） 特別講座「沖縄戦の教訓をどのように伝え、平和の創造へ繋げていくのか」 新企画展「ギャラリー展」（4回）、子ども・プロセス企画展（4回）、沖縄県平和祈念資料館講習会
2019（令和1）年度	特別展「武田美通・鉄の造形30作品展 戦死者たちからのメッセージ」 児童・生徒の平和メッセージ展（県内5カ所）

「平和への思い（ウムイ）」発信・交流・継承事業
ギャラリー展（4回）
子ども・プロセス企画展（4回）

2020（令和2）年度 戦後75年事業「戦の語り部功労者感謝状贈呈式及びパネル展」
特別展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』～滋賀県瀬田国民学校五年智組～1944-1945」
児童・生徒の平和メッセージ展（県内3カ所）
ギャラリー展（4回）
子ども・プロセス企画展（4回）
沖縄県平和祈念資料館講習会

2 日誌（抄）2020（令和2）年度

4月3日 令和2年度平和講話等利用説明会（新型コロナウイルス感染防止による中止「以下中止」）
4月10日 臨時休館（新型コロナウイルス緊急事態宣言～5月20日）
4月16日 沖縄タイムス（ワラビー）新館20周年取材
5月5日 子どもの日親子ビデオ上映会（中止）
5月7日 県立学校初任者研修（録画によるオンデマンド配信）
5月13日 島尻教育事務所中堅教諭等資質向上研修（中止）
5月21日 第1回ギャラリー展（～9月16日）
「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」
5月28日 幼稚園・認定こども園初任者研修（録画によるオンデマンド配信）
6月10日 第1回子ども・プロセス企画展（～10月4日）
「沖縄戦と第二次世界大戦の終結」
6月22日 沖縄総合事務局長視察
6月23日 慰霊の日に係る常設展示室無料公開（開館時間延長なし）
” 慰霊の日ビデオ上映会（中止）
7月14日 休館（常設展示室燻蒸作業）（～16日）
” 防災訓練（当館、財団、祈念堂）
7月15日 平和公園フィールドワーク研修（友の会・学芸班）
7月19日 内閣府特命担当大臣視察
7月22日 第15回 沖縄県平和祈念資料館友の会定期総会
7月24日 大学連携事業（当館及び平和祈念公園内）
7月29日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（宮古島市未来創造センター～8月3日）
7月30日 那覇教育事務所初任者及び中堅教諭等資質向上研修（当館）
8月1日 臨時休館（新型コロナウイルス緊急事態宣言～9月5日）
” 夏休み自由研究相談室【情報ライブラリー】（中止）
” 夏休み子ども教室【情報ライブラリー】（中止）
8月7日 夏休み子どもウィーク（学芸班）～9日
” 平和アニメ上映会（中止）
” 親子で学ぶ沖縄戦（講話・常設展示室見学）（中止）
” 親子平和フィールドワーク（平和祈念公園内）（中止）
8月17日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（那覇市・中止）
9月8日 学芸員実習【沖縄国際大学1名】（～16日）
9月8日 第1回子ども・プロセス企画展（～10月4日）

- 「沖縄戦と第二次世界大戦の終結」※企画展示室にて再展示
- 9月9日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（名護市・中止）
- 9月10日 第2回子ども・プロセス企画展（～11月23日）
「戦争と人々の暮らし」
- 9月11日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（八重山平和祈念館～22日）
- 9月18日 第2回ギャラリー展（～11月18日）
「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」高等学校の部
- 10月10日 戦の語り部功労者パネル展（当館～11月15日）
- 10月15日 島尻教育事務所初任者研修（当館）
- 10月17日 「戦の語り部」功労者に対する感謝状贈呈式（平和祈念堂）
- 11月10日 沖縄少年院連携事業
- 11月13日 兵庫県議会視察
- 11月19日 日本平和博物館会議（新型コロナ感染拡大による書面討議）
- 11月21日 児童・生徒の平和メッセージ展開催（当館～令和3年1月31日）
” 児童・生徒の平和メッセージ表彰式（当館）
- 11月27日 第3回ギャラリー展（～2021年3月10日）
「アカナちゃんと歩いてみよう！平和祈念公園」
- 11月30日 戦の語り部功労者パネル座間味村移動展（座間味村～12月24日）
- 12月3日 第3回子ども・プロセス企画展（～2021年3月7日）
「沖縄の民間人収容所～米軍に捕らわれた30万人余の人びと～」
- 12月10日 ミハイル Y. ガルージン 駐日ロシア連邦大使視察
- 12月16日 戦の語り部功労者パネル展座間味村移動展平和講話（～17日）
- 12月23日 沖縄県新規採用職員研修（録画によるオンデマンド配信）
- 12月29日～1月3日（休館日）
- 2月13日 特別展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』～滋賀県瀬田国民学校五年智組～1944-1945」（～3月28日）
- 2月21日 大人のための平和学習（入門編）開催
- 3月11日 沖縄県平和祈念資料館運営協議会開催
” 第4回ギャラリー展（～2021年5月12日）
「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」
- 3月17日 第4回子ども・プロセス企画展（～2021年5月22日）
「戦時下の子どもたち～小学校から国民学校へ～」
- 3月9日～15日 臨時休館（新型コロナウイルスの為）
- 3月18日 沖縄県平和祈念資料館講習会開催
- 3月21日 大人のための平和学習（入門編）開催



沖縄県平和祈念資料館外観

3 施設

(1) 平和祈念資料館の役割

ア 全戦没者への追悼と恒久平和の祈念

沖縄戦の実相と教訓を継承し、沖縄戦で亡くなられた20万余の国内外のすべての人々に追悼の意を表すとともに、世界の恒久平和を祈念する場とする。

イ 平和の発信と創造

沖縄の先達から受け継いだ「沖縄のこころ」を原点に、県民が主体的かつ積極的に平和の創造に関わり、平和を発信する拠点施設とする。

ウ 平和教育、平和交流及び人材育成

平和を求める人々の積極的な参加と交流を促進する各種の平和教育、平和交流等の活動を展開する。また、平和学習等に必要の人材育成を支援する。

エ 平和のネットワークの構築

平和をテーマとした内外の関連施設を中核として、学校、図書館等の公共の施設等と平和ネットワークを構築し、情報交換や平和研究等の人的交流を促進し、平和活動を支援する。

オ 平和のデータベースと調査研究

沖縄戦や平和に関する資料・情報及び調査研究の成果等をデータベースとして構築し、県民をはじめ、広く内外に提供するとともに、展示や事業活動を展開するための調査研究を実施するなど平和活動等に寄与する。

(2) 建設概要

ア 事業期間 平成5年度～平成11年度

イ 事業規模 地下1階地上2階 RC造り

敷地面積 約12,808平方メートル

延床面積 10,179平方メートル

ウ 総事業費 約7,291百万円（県債6,510、施設整備基金139、一般642）

工事費 4,900百万円

設計費 155 "

展示工事費 1,535 "

展示設計費 126 "

情報システム 171 "

その他 404 "

エ 主な施設

常設展示室（1～5室） 1,360平方メートル

企画展示室 255 "

子ども・プロセス展示室 518 "

情報ライブラリー 472 "

平和祈念ホール 245 "

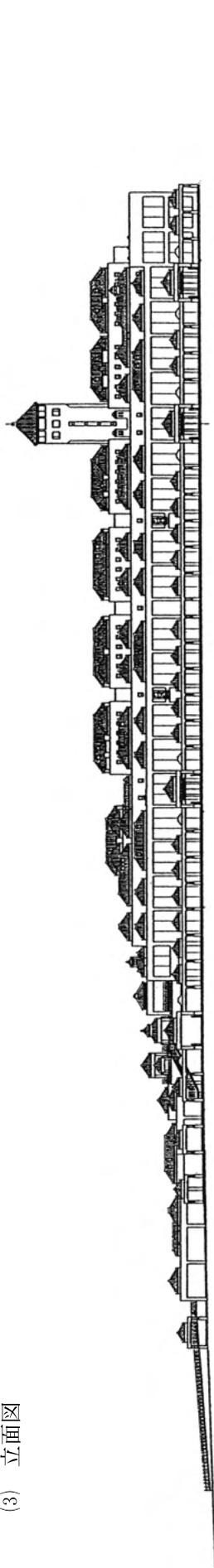
海と礎の回廊 256 "

会議室 200 "

一般収蔵庫 1,201（1F、2F） "

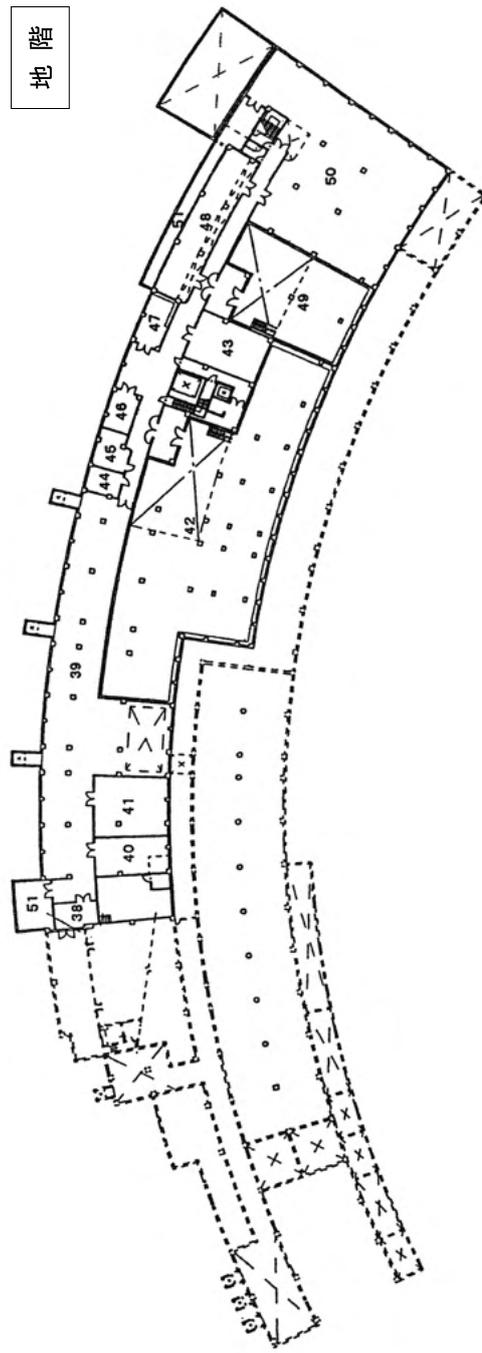
特別収蔵庫 281（1F、2F） "

(3) 立面図



南側立面図 S=1/700

(4) 平面図



北側立面図 S=1/700

- 38 消防ポンプ室
- 39 機械室 (426㎡)
- 40 発電室
- 41 電気室
- 42 一般収蔵庫 (1F=658㎡、2F=543㎡)
- 43 仮置き場倉庫 (60㎡)
- 44 メンテナンス室
- 45 ポンベ室
- 46 くん蒸室
- 47 写真撮影室 (25㎡)
- 48 資料調査研究室 (95㎡)
- 49 特別収蔵庫 (1F=186㎡、2F=95㎡)
- 50 機械室 (415㎡)
- 51 ドライエリア

地階 s=1/700

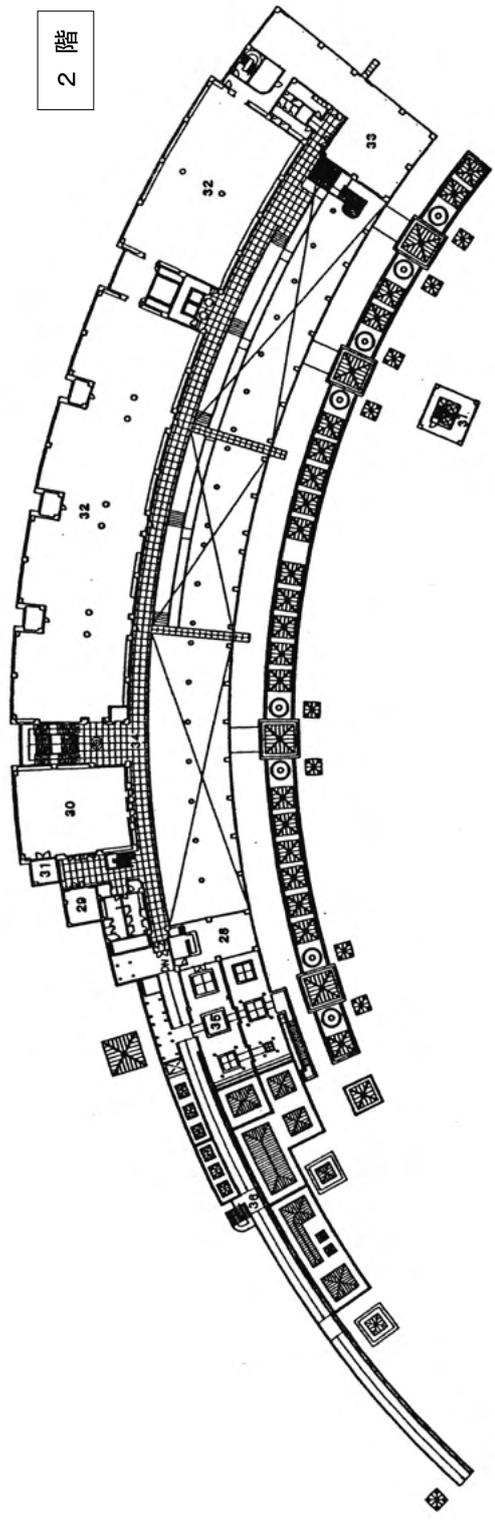
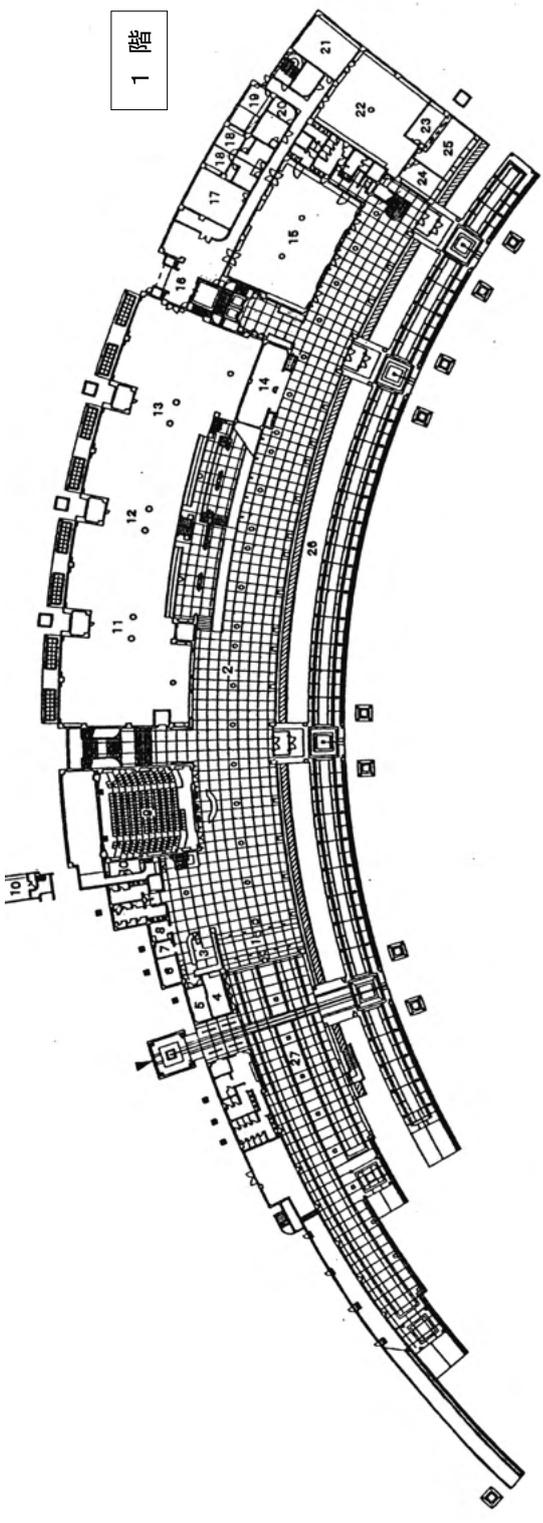
- I 概 要
- II 調査研究
- III 展示企画
- IV 資料収集・活用事業
- V 教育普及
- VI 広報活動等
- VII その他の事業
- VIII 入館者状況
- IX 八重山平和記念館
- X 友の会の活動報告
- XI 関係条例・規則・要綱
- XII 年度状況別

- 1 エントランス
- 2 ホール(1510㎡)
- 3 ミュージアムショップ(28㎡)
- 4 事務室
- 5 ティア室
- 6 授乳・救護室
- 7 自販機室
- 8 ロッカー・自販機室
- 9 平和祈念ホール(245㎡・231席)
- 10 楽屋・調整室
- 11 子供展示室(285㎡)
- 12 プロセス展示室(233㎡)
- 13 情報ライブラリー(472㎡)
- 14 アルコーブ
- 15 企画展示室(255㎡)
- 16 荷解き室
- 17 情報処理室(49㎡)
- 18 職員休憩室
- 19 守衛室
- 20 給湯室
- 21 事務会議室(52㎡)
- 22 事務学芸員室(158㎡)
- 23 小会議室
- 24 館長室
- 25 応接室
- 26 中庭
- 27 ピロティー

1階 s=1/700

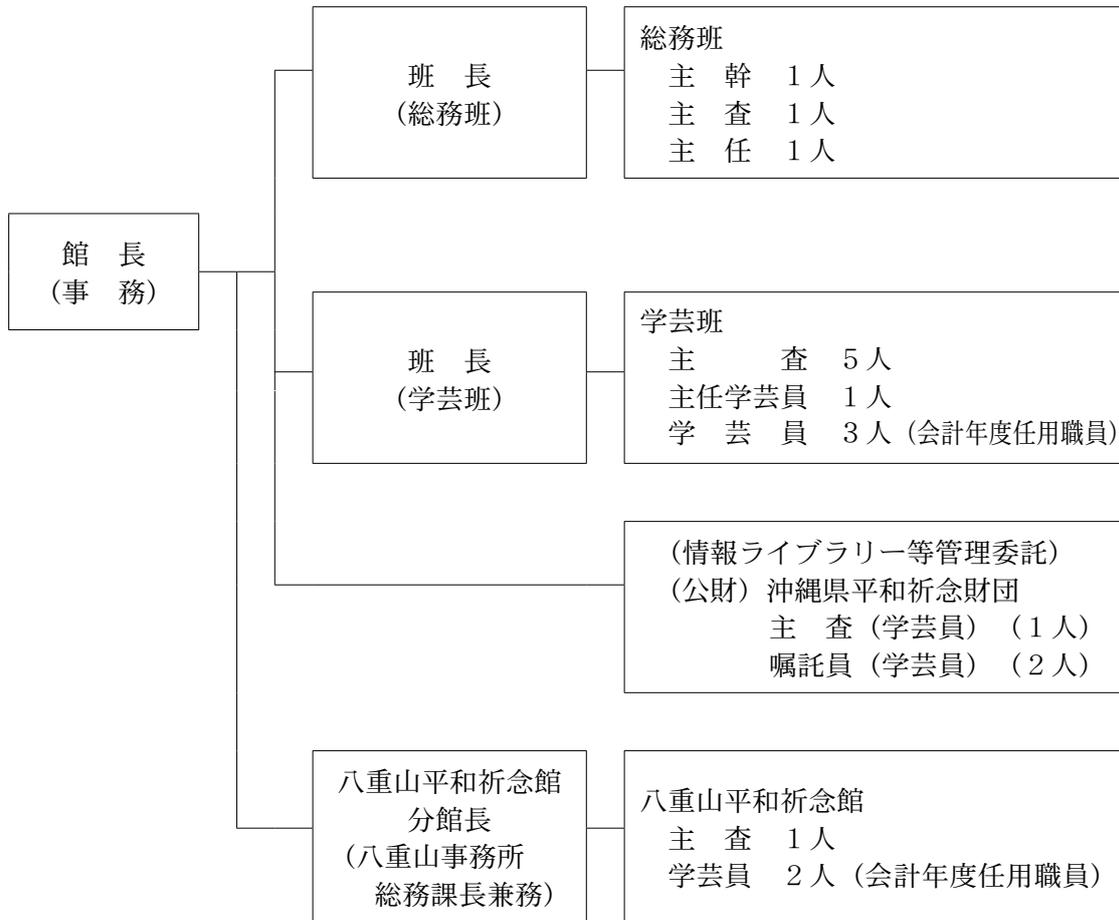
- 28 喫茶室(86㎡)
- 29 事務室
- 30 会議研修室(200㎡・100席)
- 31 調整室
- 32A 常設展示室 1~4 (957㎡)
- 32B 常設展示室 5 (403㎡)
- 33 海と礎の回廊(256㎡)
- 34 キャラリー(373㎡)
- 35 テラス
- 36 外部スロープ
- 37 展望室

2階 s=1/700



4 組織

(1) 機構 2020（令和2）年4月1日現在



*その他ビル管理会社の常駐委託職員

受付（3人）、警備（2人）、清掃（2人）、機械設備管理（1人）

(2) 職員構成 2020（令和2）年4月1日現在

職名	氏名	担当業務
館長	外間裕朋	資料館業務の総理に関すること

総務班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長 (出納員)	伊佐 康幸	管理運営に係る将来計画の策定に関する事項 予算、決算、監査の総括に関する事項 財産管理の総括に関する事項（財産の維持、保全補修等管理全般、金庫の鍵、公印保管等） 消防訓練、防災・緊急時対応に関する事項 議会関係に関する事項 委託業者の監督調整等に関する対外的事項に関する事項 運営協議会に関する事項（公募・会議開催の庶務的事項） 土日祝日勤務割り振りに関する事項 その他庶務会計に関する事項
主幹	新垣 伸弥	出納事務に関する事項（日計表の確認含む） 施設・設備、財産の使用許可業務に関する事項 団体入館予約、入館者の日報月報等統計業務に関する事項 歳入事務（観覧料等）に関する事項（八重山平和祈念館含む） 委託料に関する事項 修繕料に関する事項 音声ガイド等音響機器の管理に関する事項 機器のリースに関する事項 備品の執行管理に関する事項 公有財産に関する事項 情報システム構築に関する事項（副） その他庶務・会計に関する事項
主査	安延 亮子	給与の支払、諸手当の認定、任用等服務に関する事項 文書の収受、保管に関する事項 出勤簿、超勤命令簿等の管理に関する事項 需用費、役務費、使用料及び賃借料等の執行に関する事項 旅費、報酬、謝金に関する事項 決算に関する事項 公用車の管理に関する事項 消耗品、切手等の受払に関する事項 雑入に関する事項 共済事務に関する事項 その他庶務会計に関する事項
主任	亀谷 耕	団体入館予約に関する事項 団体入館予約のサインージへの入力事務 リーフレットの送付に関する事項 拾得物に関すること 年報、「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 常設展示室・収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（主） 情報システム構築に関する事項（主） その他庶務・会計に関する事項

学芸班

凡例：主：主担当 副：副担当 共：共通

職名	氏名	担当業務
班長 (総括)	大嶺 拡	学芸業務の総括及び学芸業務に関する事項 (主) 事業計画及び展示活動事業執行の統括に関する事項 (主) 予算・決算・議会对応の総括に関する事項 (学芸的事項) (主) 運営協議会総括に関する事項 (主) 要人・議員団・その他公的研修等案内及び割り振り (主) 沖縄県平和祈念資料館中長期計画に関する事項 (主) 学芸員の採用、人材育成に関する事項 (主) 常設展示室のリニューアルに関する事項 (主) 学芸員実習生の受け入れ等に関する事項 (主) 沖縄県資料保存利用機関連絡会議 (主) 消防防災に関する事項 (副) 「平和への思い」発信・交流・継承事業 (副) 「戦中・戦後の戦争体験者証言映像収録・翻訳事業」(副) 「語り部功労者表彰」に関する事項 (副) 平和講話に関する事項 (共)
主査	長島 誠	「戦中・戦後の戦争体験者証言映像収録・翻訳事業」(主) 一括交付金事業に関する事項 (主) 運営協議会に関する事項 (委員の選任、運営及び議題) (主) 提案展示会等への対応に関する事項 (主) 情報化推進に関する事項 (主) 広報に関する業務 (主) 特別企画展の企画・立案に関する事項 (副) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査	金城 孝之	児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項 (主) 収蔵資料の管理に関する事項 (主) JICA、国外関係機関等との連携に関する事項 (主) 質問照会の回答担当に関する事項 (主) 常設展示 (子ども博物館展示室) の管理運営に関する事項 (主) 少年院との連携に関する事項 (主) 収蔵品展 (副) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共)
主査	伊波 郁	「戦の語り部功労者表彰事業」(主) 特別企画展の企画・立案に関する事項 (主) 特別講座に関する事項 (主) 夏休み親子平和学習に関する事項 (主) キャリア教育に関する事項 (主) 常設展示室 (第1・2室) の管理運営に関する事項 (主) 日本平和博物館会議 (主) 平和講話に関する事項 (共) その他学芸業務に関する事項 (共) 英語に関する業務

I
概

要

II
事調
査研
業究

III
事展
示企
業画

IV
活資
用料
事集
業・

V
事教
育普
業及

VI
出広
報活
動等

VII
事そ
の他
業の

VIII
入館
者状
況

IX
祈八
重山
平和
館和

X
活友
動の
報告
会

XI
規関
則係
・要
案例
・

XII
入年
館度
状
況別

職名	氏名	担当業務
主査	スナール 静華	展示物等の撮影許可・著作権申請等及びマニュアル作成に関する事項（主） 県内小中高校生への平和講話等の対応に関する事項（主） 友の会活動の支援・推進に関する事項（主） 離島・遠隔地講師派遣事業に関する事項（主） 資料館講習会の企画等に関する事項（主） 常設展示室（第5及び屋外）の管理運営に関する事項（主） 「平和への思い」発信・交流・継承事業（副） 英語に関する業務 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主査	玉城 寿史	証言映像・収蔵資料の貸出に関する事項（主） 寄贈資料の受理、整理保存に関する事項（収蔵品展）（主） 千羽鶴未来プロジェクト及び千羽鶴の受理に関する事項（主） 常設展示（第3・4室）の管理に関する事項（主） 大学との連携模索に関する事項（主） 収蔵品展（主） 「戦の語り部功労者表彰事業」（副） 「戦中・戦後の戦争体験者証言映像収録・翻訳事業」（副） 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（副） 情報化推進に関する事項（副） 平和講話に関する事項（共） その他学芸業務に関する事項（共）
主任学芸員 （再） （フルタイム）	久部良 和子	八重山平和資料館との連携に関する事項（主） 「資料館だより」の編集・発行に関する事項（主） 「年報」の発行に関する事項（主） 常設展示室・収蔵庫の燻蒸・消毒の実施に関する事項（主） こどもの日・慰霊の日のアニメ上映会に関する事項（主） 観覧者アンケート統計、分析、月ごとの総括に関する事項（主） 館内広報に関する業務（主） 資料館講習会（副） 「戦の語り部功労者表彰事業」（副） 児童・生徒の平和メッセージの企画等に関する事項（副） 「平和への思い」発信・交流・継承事業（副） 「戦中・戦後の戦争体験者証言映像収録・翻訳事業」（副） その他学芸業務に関する事項（共）
会計年度 任用職員 （学芸員）	工藤 紗也香 仲地 華 石持 みずき	展示活動の企画・準備・実施に関する事項（副） 資料・収蔵品の登録・整理に関する事項 HPの更新に関する事項 その他学芸業務の補助に関する事項 館内事業案内掲示など広報等に関する事項 沖縄戦・平和教育に関わる記事の収集等に関する事項 その他上司の命に関する事項

委 託 (沖縄県平和祈念財団)

職 名	氏 名	担 当 業 務
主 査 (学芸員)	平田 守	施設の設備の管理 施設の図書資料等の管理 企画展の開催 施設の利用促進 沖縄戦に関するレファレンス業務 資料館が企画する講演会・講習会等の講師 特別企画展に関する事項全般への指導助言 (追加) 収蔵資料の登録、整理に関する指導助言 (追加)
嘱 託 員	狩俣 友美	情報ライブラリーの管理運営に関する事項
	儀間 智美	子ども・プロセス展示室の管理に関する事項 収蔵資料の整理に関する事項 (追加)

八重山平和祈念館

職 名	氏 名	担 当 業 務
分 館 長	仲村 卓之	分館の事務を処理し、所属職員を指揮監督すること。
主 査	米原 明子	館の施設、備品等の維持管理に関する事項 契約事務、支出事務に関する事項 資料の寄贈、寄託関係に関する手続き事務に関する事項 その他、館の運営及び指示された事項
会計年度 任用職員	井出 麻里衣	展示物及び資料の収集、保存及び管理に関する事項 展示物及び資料の説明に関する事項 館の施設及び備品等の維持管理に関する事項
	田盛 敦子	観覧料の収納事務に関する事項 その他八重山平和祈念館の管理運営に関する事項

5 令和2年度 歳入歳出決算（本館及び分館）

歳 入

単位：円

科 目	常設展示室	ホー ル、 会 議 室 等 使 用 料	ミュージアム ショップ等	「平和への思 い」発信・交流・ 継承事業（沖 縄振興特別 推進交付金）	不用品 売払代	合計
資料館観覧料	8,816,115	0	0	0	0	8,816,115
本館	8,726,370					8,726,370
分館	89,745					89,745
資料館使用料	0	75,130	0	0	0	75,130
本館		75,130				75,130
分館		0				0
建物使用料	0	0	135,486	0	0	135,486
本館			135,486			135,486
分館						0
建物貸付料（本館）			414,010			414,010
寄 附 金						0
雑 入 （本館）			473,790			473,790
「平和への思い」発信・ 交流・継承事業（本館）				0		0
合 計	8,816,115	75,130	1,023,286	0	0	9,914,531
本館	8,726,370	75,130	1,023,286	0	0	9,824,786
分館	89,745	0	0	0	0	89,745

歳 出

単位：円

科 目	管 理 運 営 事	展 示 活 動 業	「平和への思 い」発信・交 流・継承事業	平 和 祈 念 資 料 館 緊 急 補 修 事 業 (繰 越)	合 計
報 酬	83,700	8,407,200	0		8,490,900
本館	83,700	5,074,080			5,157,780
分館	0	3,333,120			3,333,120
職 員 手 当		1,102,032	0		1,102,032
本館		665,119			665,119
分館		436,913			436,913
報 償 費	8,400				8,400
旅 費	251,250	731,520	0		982,770
本館	159,440	665,180			824,620
分館	91,810	66,340			158,150
需 用 費	44,093,809	1,405,000	0	0	45,498,809
本館	42,158,518	1,348,000			43,506,518
分館	1,935,291	57,000			1,992,291
役 務 費	2,328,258	0	0		2,328,258
本館	2,201,240	0			2,201,240
分館	127,018	0			127,018
委 託 料	66,502,810	16,773,091	0	3,451,800	86,727,701
本館	65,175,286	16,773,091		3,451,800	85,400,177
分館	1,327,524	0			1,327,524
使用料及び賃借料	4,427,292	0	0		4,427,292
本館	4,420,713				4,420,713
分館	6,579	0			6,579
工 事 請 負 費	12,595,000			62,883,000	75,478,000
備 品 購 入 費	307,472				307,472
本館	273,592				273,592
分館	33,880				33,880
負担金補助及び交付金	10,000				10,000
合 計	130,607,991	28,418,843	0	66,334,800	225,361,634
本館	127,085,889	24,525,470	0	66,334,800	217,946,159
分館	3,522,102	3,893,373	0		7,415,475

6 沖縄県平和祈念資料館運営協議会・八重山平和祈念館部会

(1) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会委員名簿

任期：2019（令和元）年12月18日～2021（令和3）年12月17日

区分	役職名	氏名	現職名
学識経験者	会長	當眞 嗣一	沖縄考古学会顧問
教育関係者	副会長	久保田 暁	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
	委員	安里 英子	ライター（元沖縄大学非常勤講師）
	委員	下地 芳郎	沖縄観光コンベンションビューロー会長
	委員	照屋 寛	沖縄県平和祈念財団評議員
	委員	前泊 克美	ひめゆり平和祈念資料館学芸員
	委員	里井 洋一	琉球大学教育学部教授
	委員	船附 初江	社会福祉法人理事長（保育園園長）
	委員	平良 正栄	豊見城市教育委員会指導主事（嘱託）
公募	委員	大城 貴代子	おきなわ女性財団理事長
	委員	出井 香	自営業（元公立小学校教諭）

(2) 八重山平和祈念館部会委員名簿

代表区分	職名	氏名	現職名
学識関係者	部会長	久保田 暁	沖縄県平和祈念資料館友の会会長
	委員	照屋 寛	沖縄県平和祈念財団評議員
	委員	里井 洋一	琉球大学教育学部教授

(3) 沖縄県平和祈念資料館運営協議会活動経過

2020（令和2）年度運営協議会

日時：2021（令和3）年3月11日（木）14:00～15:00

場所：平和祈念資料館 2階 大会議室

内容：(1)議題

- ①沖縄県平和祈念資料館 2020（令和2）年度事業報告について
- ②沖縄県平和祈念資料館 2021（令和3）年度事業計画（案）について
- ③八重山平和祈念館 2020（令和2）年度事業報告について
- ④八重山平和祈念館 2021（令和3）年度事業計画（案）について



運営協議会

II 調査研究事業

1 第27回日本平和博物館会議

日本平和博物館会議は、戦争の惨禍を人々に伝え平和の実現に資することを目的とする博物館等が協力して調査・研究等を行うことにより、相互の連携を図りつつ平和推進事業の一層の発展を期することを目的として、1994（平成6）年に設立された。年1回の定例会開催のほか、研修や共同事業を行っている。

2020（令和2）年度は、ひめゆり平和祈念資料館が事務局を担当した。当初は、11月19日～20日にひめゆり平和祈念資料館にて対面形式で開催される予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、書面協議の形で開催された。

- (1) 日時：2020（令和2）年11月19日（木）
- (2) 開催場所：ひめゆり平和祈念資料館
- (3) 参加博物館

	施設名	所在地
①	埼玉県平和資料館	埼玉県
②	川崎市平和館	神奈川県
③	立命館大学国際平和ミュージアム	京都府
④	広島平和記念資料館	広島県
⑤	長崎原爆資料館	長崎県
⑥	沖縄県平和祈念資料館	沖縄県
⑦	ひめゆり平和祈念資料館	沖縄県
⑧	ピースおおさか	大阪府
⑨	神奈川県立地球市民かながわプラザ	神奈川県
⑩	対馬丸記念館	沖縄県

(4) 書面討議の流れ

- 7月24日 開催館（ひめゆり平和祈念資料館）より開催方法アンケートを加盟館へ送信
- 8月18日 協議題・聴取事項アンケート及び開催方法に関するアンケート（2回目）
- 9月15日 開催方法の決定通知、協議題・聴取事項の回答依頼（～10月23日）
- 11月7日 協議題・聴取事項の共有、協議題に対する質問及び意見を募集（～11月13日）
- 11月19日 第27回日本平和博物館会議開催（書面討議）

(5) 書面討議内容

①定例会

- 協議題1 「コロナ渦の中で、平和博物館ができることは何か」
- 協議題2 「オンラインツアーやオンライン講話の取り組みについて」
- 協議題3 「語り部の後継者について」
- 協議題4 「写真フィルム、映像フィルムの保管方法について」
- 協議題5 「資料収蔵スペースの浸水対策について」

聴取事項について報告

- ・来館者に対する新型コロナウイルス感染防止対策方法
- ・コロナ渦における展示ガイドの取り組み ・触れる資料の取り扱い
- ・マスク着用が難しい来館者対応 ・オンラインの活用方法
- ・オンライン上での展示活動等の状況 ・HP、SNSの情報発信頻度
- ・視覚障害者への対応 ・常設展更新の計画及び状況 ・収蔵物の返還請求
- ・グッズ販売の状況 ・友の会組織の運営状況 ・貸館業務の実施状況

Ⅲ 展示企画事業

1 常設展

(1) 展示構成

常設展示は1階と2階の2つのゾーンで構成されている。

〔歴史を体験するゾーン〕

2階の「歴史を体験するゾーン」は、来館者が沖縄戦及び戦後の歴史的体験をとおりて平和の尊さや戦争の悲惨さを知り、この歴史的教訓を次の世代へと継承していくねらいがあり、5つの展示室で構成される。

第1展示室「沖縄戦への道」

沖縄が日本の国家体制に組み込まれていく過程を琉球処分からアジア・太平洋戦争末期の沖縄戦前夜までの映像や写真パネルで解説する。

第2展示室「住民の見た沖縄戦－鉄の暴風－」

およそ3ヵ月に及んだ地上戦の経緯と住民犠牲の諸相について、映像と造形物であらわす。被弾した旧沖縄県庁の門柱や糸満市に現存する水タンクなど、破壊し尽くされ、瓦礫と化した街のようすを原寸で再現した造形物が沖縄戦の凄まじさを物語る。

第3展示室「住民の見た沖縄戦－地獄の戦場－」

空間全体が戦場をイメージして作られる。軍民入り乱れた戦場での住民犠牲の出来事を写真パネル、焼け焦げた衣服や当時の水が入った水筒などの実物資料を展示する。また、住民や日本兵の避難場所に利用された、ガマ(自然の鍾乳洞)とその中で起こった出来事が造形物で再現される。

第4展示室「住民の見た沖縄戦－証言－」

旧資料館の証言展示を踏襲しながら、新たに離島や北部の証言を加え、犠牲を強いられた一般住民の心の叫びを証言文と証言映像で紹介する。沖縄戦を直接体験した人々が重い口を開いて語ってくれた証言は、歴史の真実として心にじかに訴える。

ニュートラルゾーン

第4展示室と第5展示室との間にある壁面には、旧資料館から受け継いだ「展示～むすびのことば～」が掲げられている。

第5展示室「太平洋の要石」

終戦後の収容所生活から27年間の米軍統治を経て1972年5月15日に沖縄が日本復帰を果たすまでの住民のようすや政治状況を実物資料、写真パネル、造形物、映像などで展示する。米軍の沖縄統治の状況、土地闘争、基地に起因するさまざまな問題、復帰運動、さらには「太平洋の要石」と呼ばれて今日まで続く「基地の島」沖縄の実態が浮かび上がる。

これらの展示は、県民をはじめ、平和学習や平和交流、慰霊などで訪れた県外や海外からの来館者が沖縄の歴史的体験をできるように構成される。また、観光バスツアーなど、見学時間が短い来館者にも配慮し、短時間で沖縄の歴史が概観できる設定となっている。

〔未来を展望するゾーン〕

1階の「未来を展望するゾーン」の展示は参加型となっており、主に児童・生徒を対象としている。子ども・プロセス展示室は、未来を担う子どもたちが積極的に平和を愛する心を育むためのもので、大きく3つのゾーンに分かれる。

〔ぬちどう宝・せかいの子どもたち〕コーナー

さまざまな国の子どもたちの学校のように、友だち、遊びのことなどを紹介し、かけがえのない命、そしてぬちどう宝・せかいの子どもたち・いのちのわ(輪)についてメッセージを発信する。

〔いま、世界で何が…〕コーナー

やまない戦争・紛争、人権問題、環境破壊などを取り上げ、その原因や解決方法を考える機会を提供する。

〔わらびな一(庭)〕コーナー

展示物に触れながら遊びをとおして多様性と共通性に気づき、異文化を認め理解し合う。また、展示内容に関する子ども・プロセス企画や学習作品の展示を行う「ひろば・ゆいまー」というスペースがあり、平和活動に貢献した人々の言葉を若い世代へ送るメッセージとして展示する。

なお、この階には1クラス程度の子どもたちが一度に利用できるスペースと観覧後の疑問を調べるための情報ライブラリーが設置され、一般図書、児童図書など約1万2千冊のほかに、平和学習のためのビデオなどが備えられており、子どもたちの質問への対応や資料調べのためのアドバイスなどの学習支援活動を実施する。

(2) 展示資料等の充実

- ①常設展示室2Fの殆ど全ての映像機器(LDプレーヤーからブルーレイディスクプレーヤー)とコントローラー、映像ディスク(LDディスクからDVDディスクへ)を刷新した。
- ②常設展示室2Fの第1室と第5室の年表パネルを刷新した。
- ③常設展示室第1室、第2室の展示ケース照明のLED化。企画展示室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成22年度)
- ④常設展示室、子どもプロセス展示室、情報ライブラリー、大会議室、事務室の照明装置をLED照明に刷新した。(平成26年度)
- ⑤常設展示室2Fの第2室の大型スクリーンを刷新した。(平成27年度)
- ⑥タブレット端末による常設展示室展示内容の多言語化(日本語、英語、中国語、韓国語、スペイン語)を進めた。(平成27年度)
常設展示室音声ガイダンス機器50台を新規導入。音声データをフランス語、イタリア語、ドイツ語、アラビア語、マレー語、英語、中国語、韓国語、スペイン語に翻訳した。(平成27年度)
- ⑦デジタルサイネージシステムの導入。(平成27年度)
- ⑧第4室 住民の見た沖縄戦証言多言語映像モニター4台設置(平成30年度)

2 企画展

(1) 戦の語り部功労者に対する感謝状贈呈式及びパネル展

ア 戦の語り部功労者に対する感謝状贈呈式

- ①開催趣旨：戦後75年の節目に、沖縄県内において、沖縄戦の実相や歴史的教訓を語り継ぐ活動に取り組んできた戦争体験者に対し、感謝状を贈呈することにより、その労をねぎらうとともに、県民が改めて沖縄戦を考える機会を創出し、もって沖縄戦の実相等の次世代への継承及び語り部育成の気運の醸成に寄与することを目的とする。
- ②開催日時：2020（令和2）年10月17日（金）
- ③開催場所：沖縄平和祈念堂
- ④参加者：戦の語り部功労者及び関係者

各市町村及び平和ガイド等を実践する団体から推薦された、118名の方々に感謝状が贈呈された。感謝状贈呈式当日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、推薦市町村や団体から代表者各1名に参加して頂き、人数を制限して実施することができた。



謝花副知事から感謝状贈呈



感謝状を受け取られた皆様

イ 戦の語り部功労者パネル展

- ①開催趣旨：戦の語り部として感謝状を贈呈された118名の方々の、これまでの活動内容や、次世代へのメッセージを紹介するパネルの展示を通して、観覧された方々が戦争について考え、平和への思いを新たに、功労者の思いを受け継ぐことを目的とする。
- ②開催日時：（糸満市会場）2020（令和2）年10月10日（土）～11月15日（日）
（座間味村会場）2020（令和2）年11月30日（月）～12月24日（木）
- ③開催場所：（糸満市会場）沖縄県平和祈念資料館 1階企画展示室
（座間味村会場）慶良間諸島国立公園ビジターセンター さんごゆんたく館（阿嘉島）
- ④観覧者数：9,260名（糸満市会場）

戦の語り部功労者として感謝状が贈呈された118名の方々のパネル展を開催した。観覧者からの感想としては、「今回のこのパネル展で、こんなにもたくさんの方々が語り部の活動をしていらっしゃるのだと知りました。」「戦争を体験された方が減っていく今、私たち10代にもできることは何か、改めて考えさせられました。」「思い出したくない戦争のことを語るのはとても辛いことだと思いますが、後の世代にまで語り継ぐ使命感に心打たれました。」などの感想が寄せられた。



平和祈念資料館企画展示室の様子（糸満市）



座間味村会場の様子

(2) 2020（令和2）年度 特別企画展

「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』～瀬田国民学校五年智組～1944-1945」

①開催趣旨： 戦時中の少女たちが描いた学級日誌には、一見平和な農村における戦時下の学校生活が描かれている。しかし、戦時教育の影響が子ども達の生活にも色濃く影響していることが伝わる。それは、空襲や地上戦のなかった日本の農村が経験した“どこにでもある戦争”を表現している。当時の子ども達を感じた戦時下の暮らしと教育への影響を感じ、県外の戦争の実相を考える。併せて、当館での常設展示や当時の沖縄の生活と対比させることにより、沖縄戦の実相をより理解してもらおう機会とする。

②開催日時：2021（令和3）年2月13日（土）～2021（令和3）年3月28日（日）

③開催場所：沖縄県平和祈念資料館 1階企画展示室

④協力機関：滋賀県平和祈念館、大津市歴史博物館、大津市南大萱資料室

⑤観覧者数：3,369名

特別展では、学級日誌の複製展示と併せて、当時の滋賀県の様子が伺える実物資料の展示、学級日誌を描いた方々の証言映像のほか沖縄戦における滋賀県出身戦没者の紹介や、学級日誌が描かれた1944年の沖縄の様子が理解できるコーナーを設置し展示を行った。

観覧された方からは、「子どもの目線から当時の様子が伝わった。」「戦時中の日誌や手紙などを見て、当時の出来事が現実的に感じた。」「子どもなりに戦争していたという言葉が、日誌の内容を一言で言い表していた。」「沖縄の住民も滋賀県の子ども達も、戦争に勝つために一丸になっていたことが伝わった」などの感想が寄せられた。



会場の様子



展示室の壁面写真パネルは「平和の礎」に刻銘された滋賀県出身の戦没者

(3) 2020（令和2）年度 子ども・プロセス企画展

第1回「沖縄戦と第二次世界大戦の終結」

企画展「沖縄戦と第二次世界大戦の終結」では、沖縄戦前夜から第二次世界大戦終結までの日本と世界の動きをみていくことで、沖縄戦についての理解をより深めました。日本軍は「本土決戦」の時間稼ぎのために、沖縄戦で持久戦を行ったといわれ、多くの沖縄県民が犠牲となっているなか、日本全国では本土決戦の準備が進められていました。

期間：2020（令和2）年

6月10日（水）～7月31日（金）、

9月8日（火）～10月4日（日）

観覧者数：6,039人



展示の様子



ポスター

第2回「戦争と人々の暮らし」

企画展「戦争と人々の暮らし」では、満州事変から第二次世界大戦終結までの約15年間に、国民の生活がどのように変化したのかを様々な面から展示しました。戦時下を生きた人々の姿を通して、戦争の悲惨さと平和の尊さについて、子どもたちが考える機会としました。また、小学6年生教科書の内容に合わせることで、学校と連携できるようにしました。

期間：2020（令和2）年9月10日（木）～11月23日（月）

観覧者数：5,540人



展示の様子



ポスター

第3回「沖縄の民間人収容所 ―米軍に捕らわれた30万余の人びと―」

企画展「沖縄の民間人収容所 ―米軍に捕らわれた30万余の人びと―」では、米軍が沖縄戦において、沖縄本島の住民を捕らえて隔離した「民間人収容所」について展示しました。民間人収容所の概要や住民たちの生活状況、沖縄戦から終戦直後にかけて米軍に奪われた土地についても展示し、沖縄戦による被害が戦後も長く社会に大きな影響を与えていることについて理解を深めました。

期間：2020（令和2）年12月3日（木）～
2021（令和3）年3月7日（日）

観覧者数：4,942人



展示の様子



ポスター

第4回「戦時下の子どもたち ―小学校から国民学校へ―」

企画展「戦時下の子どもたち ―小学校から国民学校へ―」では、軍事力を強化して戦争に勝つために、日本では子どもたちにどのような教育をしていたのかを、当時の教科書や雑誌などを中心に展示しました。また、戦時下の日常生活や学童疎開などについても紹介し、多くの人々が犠牲となった日本の戦争について学び、過ちを繰り返さないためにはどうすればいいのかを一人ひとりが考える機会としました。

期間：2021（令和3）年3月17日（水）～5月22日（土）

観覧者数：6,050人



竹槍訓練の様子（模型）



ポスター

(4) 2020（令和2）年度 ギャラリー展

第1回ギャラリー展「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」(中学校・特別支援の部)

内容：2020年度に児童・生徒の平和メッセージが第30回を迎えました。今年度のギャラリー展では、過去之最優秀賞作品5年分を展示していきます（特別支援の部はそれぞれに振り分けられます）。

第1回は、「第24～28回 児童・生徒の平和メッセージ 中学校・特別支援の部」の作品（図画・作文・詩）19点を展示しました。

期間：2020年5月21日(木)～9月16日(水)

第2回ギャラリー展

「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」

(高等学校・特別支援の部)

内容：「第24～28回 児童・生徒の平和メッセージ 高等学校・特別支援の部」の最優秀賞作品（図画・作文・詩）21点を展示しました。

期間：2020年9月18日(金)～11月18日(水)



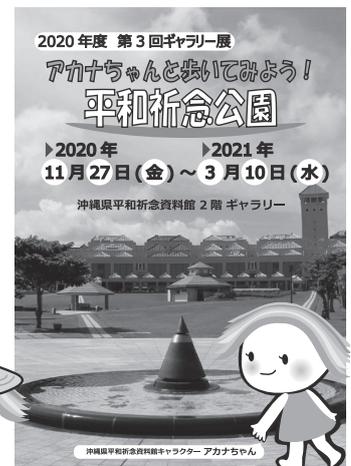
ポスター

第3回ギャラリー展

「アカナちゃんと歩いてみよう！平和祈念公園」

内容：平和祈念公園に足を運び、沖縄戦や平和について考えてもらえるよう、園内の慰霊碑や戦争遺跡などの紹介展示を行いました。児童・生徒達にも沖縄戦を知ってもらうため、地図やイラストを使って、資料館のキャラクター虹の妖精・アカナちゃんに展示解説を行っていただきました。また、公園内に地図を置いたり、展示に関する図書を紹介しました。

期間：2020年11月27日（金）～2021年3月10日（水）



ポスター

第4回ギャラリー展

「児童・生徒の平和メッセージ アーカイブ展」図画部門 高等学校の部最優秀賞作品展

内容：「第14～30回児童・生徒の平和メッセージ図画部門 高等学校の部」の最優秀賞17点を展示しました。

期間：2021年3月11日(木)～
2021年5月12日(水)



ギャラリー展の様子

IV 収集資料・活用事業

1 新収蔵品目録 2020(令和2)年3月1日～2021(令和3)年2月29日

(1) 実物資料

個人/団体から8件(31点)の資料寄贈がありました。

No	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	令和2年4月23日	日章旗	1	知念美智子
2	” 5月31日	写真	5	個人
3	” 6月14日	銃剣	1	玉城仁
4	” 6月17日	銃剣	1	安田國重
5	” 9月9日	銃、銃剣、ヘルメット、飯盒など	9	上原盛次
6	令和3年1月12日	軍服、勲章など	8	平安名栄吉
7	” 2月19日	絹反物、写真など	5	金城和子
8	” 3月12日	トロツコの車輪	1	宮城功

(2) 図書資料

個人/団体から21点の書籍寄贈がありました。当館内情報ライブラリーにて閲覧できます。

No	寄贈日	資料名	数量	寄贈者
1	令和2年8月18日	命の輝きを求めて マラリアを生き抜いた人々の証言	1	宮良純一郎
2	” 10月	山の彼方の空高く 人生交響楽	1	三木健
3	” 10月	未来へのバトン 戦争体験聞き書き	5	八重山高等学校図書館
4	” 10月	沖縄戦に動員された朝鮮人 -軍人・軍属を中心にして-	1	沖本富貴子
5	” 10月17日	民衆の心にとどける琉歌	1	瑞慶覧長方
6	” 11月25日	田井等誌	1	名護市字田井等自治会
7	令和3年1月	安谷屋字誌 あだんな	2	棚原克也
8	” 1月	神様だけが知っている どう生きるか	2	安里清栄
9	” 3月1日	特別攻撃隊全史	1	藤田幸生

2 資料貸出実績

(1) 資料の貸出

2020（令和2）年度は、県内外あわせて計（60）件、（1,136）点の貸出を行った。

県内 43件 433点

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	宗教法人 本願寺沖繩別院	平和メッセージ入賞作品（15点）	15	4 / 17 ~ 5 / 15
2	竹富町立西表小中学校	平和学習キットB・D	2	5 / 18 ~ 6 / 1
3	浦添市立浦西中学校	沖繩戦実物資料（20点）	20	5 / 25 ~ 6 / 25
4	与那原町立与那原小学校	沖繩戦の写真パネル（6点）	6	5 / 28 ~ 6 / 4
5	県立大平特別支援学校	沖繩戦の絵パネル（15点）	15	5 / 29 ~ 6 / 30
6	県立与勝高等学校	沖繩戦実物資料（3点）	3	5 / 29 ~ 6 / 22
7	南城市立久高小中学校	平和学習キットC	1	5 / 31 ~ 6 / 14
8	浦添市立前田小学校	沖繩戦の絵パネル（5点） 平和メッセージ入賞作品（7点） 沖繩戦の写真パネル（2点） 平和学習キットC	15	5 / 31 ~ 6 / 22
9	西原町立坂田小学校	平和学習キットA・D 沖繩戦の絵パネル（10点）	12	6 / 1 ~ 6 / 30
10	県立島尻特別支援学校	平和学習キットA	1	6 / 2 ~ 6 / 16
11	県立沖繩ろう学校	沖繩戦実物資料（18点）	18	6 / 4 ~ 7 / 2
12	那覇市立金城小学校	沖繩戦実物資料（3点） 沖繩戦の写真パネル（3点）	6	6 / 4 ~ 6 / 21
13	浦添市立神森小学校	平和学習キットA 沖繩戦の写真パネル（10点） 沖繩戦実物資料（5点）	16	6 / 5 ~ 6 / 19
14	県立豊見城南高等学校	沖繩戦の実物資料（10点）	10	6 / 5 ~ 7 / 1
15	県立美咲特別支援学校	沖繩戦の写真パネル（19点） 沖繩戦実物資料（16点）	35	6 / 5 ~ 6 / 24
16	那覇市立識名小学校	沖繩戦の写真パネル（12点） 沖繩戦の絵パネル（8点） 沖繩戦実物資料（11点） 平和学習キットB	32	6 / 6 ~ 6 / 22
17	浦添市立浦添小学校	平和学習キットB	1	6 / 6 ~ 6 / 20
18	県立森川特別支援学校	沖繩戦の絵パネル（8点） 平和学習キットA・B	10	6 / 6 ~ 6 / 20
19	那覇市立大道小学校	平和のウムイ地域版（那覇南部）	1	6 / 6 ~ 6 / 20
20	国頭村立辺土名小学校	平和学習キットC・D 平和学習キットA・B	4	6 / 7 ~ 6 / 21 6 / 21 ~ 7 / 2
21	西原町立西原南小学校	沖繩戦実物資料（2点） 平和学習キットB	3	6 / 7 ~ 6 / 20
22	東村立東小中学校	沖繩戦実物資料（3点） 平和メッセージ入賞作品（9点）	12	6 / 7 ~ 6 / 11
23	久米島町立球美中学校	平和のウムイ地域版（久米島）	1	6 / 8 ~ 6 / 23
24	県立美咲特別支援学校 はなさき分校	平和学習キットC	1	6 / 8 ~ 6 / 22
25	県立那覇西高等学校	世界人権宣言パネル（17点） 平和メッセージ入賞作品（3点） 沖繩戦の絵パネル（5点） 沖繩戦実物資料（19点）	44	6 / 8 ~ 6 / 12 6 / 12 ~ 6 / 26 6 / 26 ~ 7 / 17
26	県立西原高等学校	沖繩戦実物資料（5点）	5	6 / 8 ~ 7 / 1

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
27	豊見城市役所	沖縄戦実物資料（3点） 平和メッセージ入賞作品（6点）	9	6 / 10 ~ 6 / 25
28	県立那覇国際高等学校	沖縄戦実物資料（8点） 沖縄戦の写真パネル（10点） 平和メッセージ入賞作品（2点）	20	6 / 12 ~ 6 / 26
29	県立豊見城高等学校	沖縄戦の写真パネル（20点）	20	6 / 12 ~ 6 / 19
30	糸満市役所	沖縄戦の写真パネル（19点）	19	6 / 12 ~ 6 / 26
31	糸満市立糸満小学校	平和学習キットD	1	6 / 15 ~ 6 / 22
32	南城市立佐敷小学校	平和学習キットA・C	2	6 / 17 ~ 7 / 1
33	豊見城市立上田小学校	平和学習キットA	1	6 / 20 ~ 7 / 4
34	那覇市立字栄原小学校	平和学習キットA・B	2	6 / 21 ~ 7 / 5
35	県立球陽高等学校	平和学習キットB	1	6 / 22 ~ 7 / 6
36	糸満市立喜屋武小学校	平和学習キットB	1	6 / 22 ~ 7 / 3
37	県立那覇西高等学校	沖縄戦実物資料（1点）	1	6 / 29 ~ 7 / 17
38	那覇市立真地小学校	平和学習キットA・B	2	7 / 3 ~ 7 / 17
39	糸満市立光洋小学校	平和学習キットA・B	2	9 / 11 ~ 9 / 25
40	沖縄県空手振興課	沖縄戦実物資料（1点）	1	12 / 7 ~ 3 / 31
41	県立那覇国際高等学校	沖縄戦実物資料（11点） 沖縄戦の写真パネル（5点） 沖縄戦の絵パネル（8点）	24	1 / 5 ~ 1 / 8
42	那覇市立小禄小学校	沖縄戦実物資料（20点） 沖縄戦の絵パネル（16点） 平和学習キットB・C	38	2 / 18 ~ 3 / 5
43	宗教法人 本願寺沖縄別院	平和メッセージ入賞作品（12点）	12	3 / 20 ~ 4 / 18

県外 17件 290点

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
1	(京都府) 城陽市役所 企画管理部 秘書広報課	沖縄戦の写真パネル（20点）	20	6 / 29 ~ 7 / 27
2	(埼玉県) 入間市役所人権推進課	沖縄戦実物資料（10点） 沖縄戦の写真パネル（8点） 沖縄戦の絵パネル（2点）	20	7 / 31 ~ 8 / 14
3	(徳島県) 阿南平和委員会	沖縄戦の絵パネル（20点）	20	8 / 1 ~ 8 / 18
4	(栃木県) 鹿沼平和写真実行 委員会	平和学習キットB・C	2	8 / 3 ~ 8 / 13
5	(埼玉県) 下蔵公民館	沖縄戦の絵パネル（15点）	15	8 / 1 ~ 8 / 31
6	(東京都) 三鷹市役所	沖縄戦の写真パネル（13点）	13	8 / 3 ~ 8 / 31
7	(石川県) はくい9条の会	沖縄戦の写真パネル（13点）	13	8 / 5 ~ 8 / 10
8	千葉県立東葉高等学校	平和学習キットB・C	2	10 / 14 ~ 10 / 31
9	愛知県立稲沢高等学校	平和学習キットB・C	2	11 / 3 ~ 11 / 17
10	福島県立あさか開成高等学校	沖縄戦の写真パネル（2点） 沖縄戦の絵パネル（18点）	20	11 / 4 ~ 11 / 17
11	(東京都) 学校法人立志社高等学校	平和学習キットB・C	2	11 / 19 ~ 11 / 24
12	大阪市立堀江中学校	沖縄戦実物資料（10点） 平和学習キットC	11	12 / 3 ~ 12 / 17
13	岡山市立操山中学校	平和学習キットB・C	2	1 / 25 ~ 2 / 5
14	(千葉県) 佐倉市役所	平和学習キットC	1	1 / 25 ~ 2 / 7

No.	貸出先	貸出資料	数量	貸出期間
15	横浜市立西本郷中学校	沖縄戦の写真パネル (20点)	20	2 / 5 ~ 3 / 5
16	(神奈川県) 平和学園小学校	平和学習キットA・C	2	2 / 15 ~ 2 / 22
17	(千葉県) 流山市役所企画政策課	沖縄戦の写真パネル (21点)	20	2 / 18 ~ 3 / 18

当館では、以下の資料を貸出しています。

沖縄戦写真パネル (201点)、沖縄戦実物資料 (20種類)、子や孫につなぐ平和のウミ地域版セット、児童・生徒平和メッセージ展入選作品パネル (図画・作文・詩)、世界人権宣言絵画パネル一式、沖縄戦絵パネル (52点)、平和学習キット (4種類)

(2) 証言映像の貸出

2020 (令和2) 年度貸出実績 15件(54本) [県内 8件 35本、県外 7件 19本]

県内外の方々により深く沖縄戦の実相と平和の尊さを伝える事を目的に、戦争体験証言ビデオ (DVD・Blu-ray) の貸し出しを行っています。今年度は、コロナ感染症対策で来館が難しかった学校・団体が事前事後の学習教材として活用されました。また、県外の学校からも修学旅行で資料館を訪れる際の事前学習教材として効果的に活用されています。

当館では、以下の戦争体験証言ビデオ (DVD・Blu-ray) を貸出しています。

- ①戦争体験証言ビデオ・DVD(全28巻)…1巻に1～3名収録 [全79名]
- ②DVD『やーさん ひーさん しからーさん～集団疎開学童の証言～』【通常版・ダイジェスト版】
- ③DVD『そしてぼくらは生き残った』…米軍撮影の記録映像。捕虜住民の収容所での生活。
- ④DVD『強制集団死 (集団自決) に係わる証言映像』
- ⑤DVD『平和のウミ』(全36巻)…1巻に10名収録 [全300名]
- ⑥DVD『戦争体験者証言多言語吹き替え映像』…1枚に1名収録
- ⑦DVD『日系二世が見た戦中・戦後』(全4巻)1巻に4～6名収録 [全19名]【日本語版・英語版】
- ⑧Blu-ray『住民の見た沖縄戦証言』(2枚1組セット [全70名])

3 撮影・掲載等利用一覧

2021 (令和3) 年3月31日現在

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
1	沖縄平和ネットワーク 事務局長 北上田源	○当館ホームページ掲載、各常設展示室の見取り図 (第1・第2・第4・第5展示室) [書籍への掲載]	4	4月4日
2	沖縄タイムス社 編集局長 与那嶺一枝	○当館内の各常設展示室 (第1～第5展示室) 及び子ども・プロセス展示室の内観 [新聞記事用としての撮影・掲載]		4月20日
3	沖縄タイムス社 編集局長 与那嶺一枝	○当館総合案内掲載写真資料 ・P48-81 ・P52-94 ・P69-16 ・P76-35 ・P84-5 ・P87-8 ・P87-10 ・P91-1 ・P101-6 ・P107-20 [新聞への掲載]	10	4月23日
4	株式会社NHK出版 代表取締役社長 森永公紀	○当館常設展示室内写真 (第1展示室、第2展示室、ガンマ内部、第4展示室、第5展示室) [書籍およびその電子書籍に掲載]	5	5月22日
5	株式会社小学館 代表取締役社長 相賀昌宏	○沖縄戦米軍記録写真0025、0031 ○沖縄戦の絵W-27 ○当館外観写真 [学習雑誌への掲載]	4	5月22日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
6	宜野湾市立博物館 館長 平敷兼哉	○沖縄戦米軍記録写真0019、0039、0041、0042、0043、0044、0045、0046、0075、0078、0098、0102、0138、0140、0224、0282、0287、0296、0307、0311、0336、0531、0551、0560、0613、0619、0647、0651、0714、0801、 ○写真パネルB-018 [写真パネル展用パネルへの複製・展示への利用]	31	5月25日
7	株式会社沖縄タイムス 代表取締役社長 武富和彦	○当館来館者の展示物観覧の様子（常設展示室内を含む） [新聞への掲載]		5月28日
8	沖縄県教育庁生涯学習振興課 課長 下地康斗	○沖縄戦の絵W-6、W-14、W-16、W-18、W-27、W-32、W-38、番号不明（首のない赤ちゃんをおぶった母） ○沖縄戦米軍記録写真0032、0039、0085、0230、0232、0233、0234、0252、0254、0269、0296、0297、0301、0303、0551、0554、0556、0562、0603、0613、0629、0639、0696 [出前講座のためのスライド作成・利用]	31	6月5日
9	株式会社東洋企画印刷 代表取締役 大城孝	○沖縄戦米軍記録写真0233、0289、0613 ○当館総合案内掲載写真資料Gamma内部写真 [書籍への掲載]	4	6月9日
10	毎日新聞社那覇支局 那覇支局長 遠藤孝康	○沖縄戦の絵「壕に入るのを拒否されて」、「母の死」 [新聞への掲載]	2	6月9日
11	読売新聞社那覇支局 那覇支局長 寺垣はるか	○沖縄戦米軍記録写真0058、0060、0074、0075 [新聞への掲載]	4	6月9日
12	琉球新報北部支社 支社長 宮城 修	○当館収蔵実物資料 与儀達清氏の手帳（戦中）、着物「子ども用」 [新聞への掲載]	2	6月10日
13	日本郵政グループ労働組合 信越地方本部 執行委員長 塚野秀一郎	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校（高学年）の部 最優秀賞作品「本当の幸せ」 [研修レポートへの掲載]	1	6月3日
14	朝日学生新聞社 代表取締役社長 葛原徳昭	○沖縄戦米軍記録写真0132 [新聞への掲載]	1	6月15日
15	演劇集団ふらっと 代表 伊勢村拓朗	○第24回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年 最優秀賞作品「空はつながっている」 [朗読映像の放映]	1	6月23日
16	株式会社学びエイド 代表取締役社長 廣政愁一	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学生の部 最優秀賞作品「生きる」 [学習テキストへの掲載]	1	6月23日
17	中地区教職員組合 執行委員長 小嶋豊綱	○第29回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校（高学年）の部 最優秀賞作品「本当の幸せ」 [資料への掲載]	1	6月27日
18	株式会社プラネットライツ 代表取締役 浅香芳博	○当館総合案内掲載写真 ・P60-1 ・P69-17 ・P101-6 ・P107-20 ○当館外観写真 [学習テキストへの掲載]	5	6月29日
19	株式会社第三文明社 代表取締役 大島光明	○当館収蔵資料写真 ・投降勧告ピラ ・銃剣0004 ○当館外観及び館内（撮影禁止区域以外）の撮影 [雑誌への掲載]	2	6月26日
20	三木市総合隣保館 館長 島中剛	○第30回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞作品「あなたがあの時」 [機関誌への掲載]	1	6月30日
21	埼玉県蕨市立下蕨公民館 館長 小川有紀子	○第30回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞作品「あなたがあの時」 [資料への掲載及びパネル複製・利用]	1	7月3日
22	株式会社スローハンド 代表取締役 澤本均	○当館所蔵「白梅同窓会寄託資料（白梅学徒隊関連）」 ○沖縄戦の絵・225-1 ・225-2 ・225-3 [番組用撮影・放映]	16	7月8日
23	株式会社プラネットライツ 代表取締役 浅香芳博	○沖縄戦米軍記録写真0371 [雑誌への掲載]	1	7月8日
24	千葉県長南町立長南中学校 校長 保川浩基	○第30回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞作品「あなたがあの時」 [学校だよりへの掲載]	1	7月10日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
25	株式会社沖縄タイムス社 代表取締役社長 武富和彦	○当館所蔵実物資料 与儀達清氏の日記（戦中） [調査研究及び新聞掲載]	1	7月7日
26	株式会社悠工房 代表取締役 清水柁善	○沖縄戦米軍記録写真0267 [学習用デジタル教材への掲載]	1	7月14日
27	奈良市九条の会交流会 代表 木村宥子	○第30回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞作品「あなたがあの時」 [チラシへの掲載]	1	7月24日
28	カトリック一宮教会 主任司祭 岩崎一二三	○第31回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞作品「あなたがあの時」 [機関誌への掲載]	1	7月28日
29	阿南平和委員会 代表 達田瑞穂	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学校の部 最優秀賞作品「生きる」 [パネル展示会用に複製・利用]	1	7月28日
30	株式会社日企 取締役プロデューサー 江尻直孝	○沖縄戦米軍記録写真0081 [ドキュメンタリー番組での放映]	1	8月26日
31	映画「島守の塔」製作委員会 委員長 嘉数昇明	○第30回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 高等学校の部 最優秀賞「あなたがあの時」 [パンフレットへの掲載・シンポジウム内での朗読利用]	1	8月31日
32	糸満市真栄平区 区長 玉城廣一	○沖縄戦の絵W-18、W-19 [書籍（字誌）への掲載]	2	9月3日
33	社会福祉法人志木市社会福祉協議会 会長 中村勝義	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞作品「へいわってすてきだね」 [読み聞かせスライド上映のための複製・放映・利用]	1	8月31日
34	公益社団法人沖縄県建築士会 会長 金城傑	○当館施設及び外観写真（申請者撮影・所蔵写真） [書籍への掲載]	4	9月9日
35	特定非営利活動法人しゅわえもん 代表 野崎誠	○第23回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 小学校低学年の部 最優秀賞作品「へいわってすてきだね」 [手話による読み聞かせ映像の放映]	1	9月4日
36	実教出版株式会社 代表取締役社長 小田良次	○沖縄戦米軍記録写真0032 [高等学校用教科書への掲載]	1	9月14日
37	株式会社TBSテレビ 報道局長 竹内明	○摩文仁の航空写真 ○沖縄戦米軍記録写真0081、0137、0243、0554、0557 [ドキュメンタリー映画での放映]	6	9月16日
38	沖縄県平和祈念資料館友の会 会長 久保田暁	○当館所蔵無線機の写真 ○日本軍九三式火炎放射器写真 [学習会資料への掲載]	3	9月24日
39	シベリア抑留体験を語る会 札幌 会長 建部奈津子	○沖縄戦米軍記録写真0011、0019、0022、0079、0124 [映像DVDにおける放映・利用]	5	9月27日
40	株式会社碧水社 代表取締役 清水淳郎	○沖縄戦米軍記録写真0268 [書籍への掲載]	1	10月3日
41	久米島博物館 館長 山城勇人	○「昭和二十年具志川村警防団連絡書類」 [書籍（町史）への掲載・撮影]	31	9月25日
42	第32軍司令部壕の保存・公開を求める会 事務局長 垣花豊順	○沖縄戦米軍記録写真0071、0074、0075、0076、0090、0137、0265、0267、0268、0269、0270、0271、0426、0547、0938、0980、0981、1078、1198 [映像DVDにおける放映・利用]	19	10月6日
43	株式会社テレビマンユニオン 代表取締役社長 中村哲夫	○沖縄戦米軍記録写真0271 [番組内での放映]	1	10月13日
44	久米島博物館 館長 山城勇人	○「鹿山文書」（1945 [昭和20] 年4月9日） [書籍（町史）への掲載]	2	10月21日
45	中城村役場 村長 浜田京介	○沖縄戦米軍記録写真0043、0098、0104、0140、0148、0220、0647、0771 ○沖縄戦パネル写真B-002、B-0023 [平和冊子への掲載]	10	10月21日
46	琉球朝日放送株式会社 報道制作局長 謝花尚	○「鹿山文書」（1945 [昭和20] 年4月9日） [番組内での放映（過去の番組で使用した映像を使用）]	1	10月20日

番号	利用者名	資料名	点数	申請日
47	有限会社 海象社 代表 古館明廣	○沖縄戦米軍記録写真0054、0085、0156、0196、0205、0206、0208、0210、0212、0234、0252、0300 [書籍への掲載]	12	11月8日
48	NHK沖縄放送局 局長 千葉聡史	○沖縄戦米軍記録写真0140 [番組内での放映]	1	11月13日
49	株式会社琉球新報社 代表取締役社長 坂名城泰山	○沖縄戦米軍記録写真0081 [新聞への掲載]	1	11月26日
50	沖縄県立知念高等学校PTA 会長 運天貴也	○第30回児童・生徒の平和メッセージ 図画部門 高等学校の部 最優秀賞「平和を育てる」(「平和メッセージ展」ポスター・チラシ) [PTA新聞への掲載]	1	12月7日
51	久米島博物館 館長 山城勇人	○儀間真栄氏寄贈写真②(鹿山隊武装解除) 写真③(久米島での鹿山隊降伏式) 写真④(久米島の宿营地) 写真⑤(キャプションなし) 写真⑥(診療所での看護助手の女性達) 写真⑧(田んぼで作業する久米島の住民、この中にも鹿山隊は潜んでいた) [書籍(町史)への掲載]	6	12月25日
52	那覇市立銘苺小学校PTA 会長 佐渡山安博	○沖縄戦米軍記録写真0054 [地域ガイドブックへの掲載]	1	1月11日
53	桐蔭横浜大学教育研究機構 吉田功	○沖縄戦の絵041番(「雨の中こどもを背負い弟とさまよう女性」「こどもを抱えて壕にいる」) ○沖縄戦の絵111番(「身を寄せ合い館射撃で死んだ家族たち①②」) [研究論文集への掲載]	4	1月18日
54	株式会社岩波書店 代表取締役社長 岡本厚	○沖縄戦米軍記録写真0758 [電子書籍への掲載]	1	1月21日
55	戦争と平和の資料館ピース あいち 館長 宮原大輔	○常設展示室第3展示室 ガマ内部写真(避難民・日本兵) [展示パネルとして複製]	1	1月23日
56	我孫子市 市長 星野順一郎	○沖縄戦米軍記録写真0234 [平和冊子への掲載]	1	1月28日
57	沖縄県教育庁生涯学習振興課 課長 下地康斗	○沖縄戦の絵W-6、W-14、W-16、W-18、W-27、W-32、W-38、番号不明(首のない赤ちゃんをおぶった母) ○沖縄戦米軍記録写真0032、0039、0085、0230、0232、0233、0234、0252、0254、0269、0296、0297、0301、0303、0551、0554、0556、0562、0603、0613、0629、0639、0696 [出前講座のためのスライド作成・利用]	31	2月8日
58	徳島県中学校人権教育研究会 代表 横昌道彦	○沖縄戦米軍記録写真0613 ○展示むすびの言葉 [教育資料への掲載]	2	2月10日
59	神戸学院大学現代社会学部 松田ヒロ子	○平成27年度 沖縄県平和祈念資料館特別展「戦後70年 伝え残す記憶 ウチナンチュが見た戦前・戦時下の台湾・フィリピン」 展示会チラシ [書籍への掲載]	1	2月18日
60	株式会社東洋企画印刷 代表取締役 大城孝	○沖縄戦米軍記録写真0233、0289、0613 [書籍への掲載]	3	3月5日
61	萩原誠	○第28回児童・生徒の平和メッセージ 詩部門 中学生の部 最優秀賞作品「生きる」 [書籍への掲載]	1	2月28日
62	筑前町立大刀洗平和記念館 館長 山本孝	○沖縄戦米軍記録写真0019、0022、0032 [展示パネルとして複製・利用]	3	3月1日
63	しんぶん赤旗日曜版編集部 編集長 山本豊彦	○沖縄戦米軍記録写真E-4 [新聞への掲載]	1	3月18日
64	東京書籍株式会社 代表取締役社長 千石雅仁	○沖縄戦米軍記録写真0227、手榴弾写真(北島氏撮影) [教科書への掲載]	3	3月17日

I
概

要

II
事調
査研
業究III
事展
示企
業画IV
活資
用料
事集
業・V
事教
育普
業及VI
出広
報報
版活
動等VII
事そ
の他
業のVIII
入館
者状
況IX
祈八
重山
念平
館和X
活友
動の
報告
会XI
規関
則係
・要
案例
・XII
入年
館度
状
況別

V 教育普及事業

1 教育普及行事

(1) 第30回「児童・生徒の平和メッセージ展」

本県は、去る大戦において、一般住民を巻き込んだ地上戦の場となり、20万余の貴い生命とかけがえない文化遺産を失った。戦後75年を経過した現在、この歴史的な事実を風化させることなく次の世代に正しく継承させていくために児童・生徒の平和に関する図画・作文・詩の創作活動を通して、児童・生徒が戦争と平和について考え、平和を尊ぶ心を育てる機会とする。また、応募作品の中から優秀な作品を選定し、展示、広報することを通して、県民をはじめ広く国内外の人々の心に沖縄発の児童・生徒の平和メッセージを発信する機会とする。



ポスター

①応募総数 (2,594点) 図画1,073点 作文232点 詩1,289点

②2020(令和2)年沖縄全戦没者追悼式「平和の詩」朗読者
 沖縄県立首里高等学校3年 高良 朱香音 「あなたがあの時」

③展示会

- ・糸満市(沖縄県平和祈念資料館) 期間: 7月28日~8月31日
 ” 11月21日~2021年1月31日
- ・石垣市(八重山平和祈念館) 期間: 9月11日~9月22日
- ・宮古島市(宮古島市未来創造センター) 期間: 10月1日~10月13日

③表彰式

- ・2020(令和2)年11月21日(土)午後3時~午後3時50分
 沖縄県平和祈念資料館 1階平和祈念ホール

④入賞作品数(212点)

【小学校低学年の部】 33作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	10	20作品
作文	0	0	1	0	1作品
詩	1	3	4	4	12作品

【小学校高学年の部】 50作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	20	30作品
作文	0	0	2	5	7作品
詩	1	2	7	3	13作品

【中学校の部】 51作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	7	10	20作品
作文	1	2	5	12	20作品
詩	1	2	8	0	11作品

【高等学校の部】 49作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	3	7	14	25作品
作文	1	2	5	8	16作品
詩	1	2	3	2	8作品

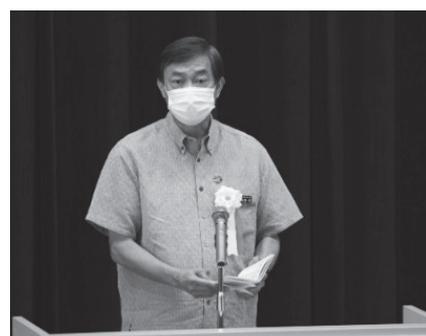
【特別支援（学校及び学級）の部】 29作品

	最優秀	優秀	優良	佳作	合計
図画	1	2	4	8	15作品
作文	0	3	3	2	8作品
詩	1	2	2	1	6作品

⑤表彰式（展示会）の様子



記念撮影（図画部門）



副知事あいさつ



記念撮影（作文部門）



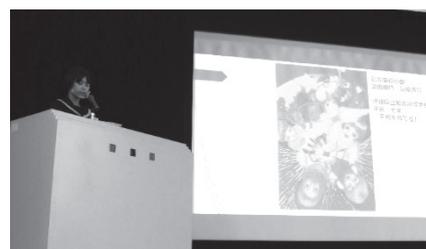
記念撮影（詩部門）



朗読（作文部門）



朗読（詩部門）



作品紹介（図画部門）



賞状授与の様子



展示会の様子（企画展示室）



(2) 親子ビデオ上映会及び慰霊の日沖縄戦関連ビデオ上映会

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策「緊急事態宣言」中のため、実施できなかった。

(3) 夏休み子ども向け企画

①夏休み自由研究そうだん室

とき：8月1日（土）～31日（月）

ところ：資料館1階 情報ライブラリー

平和や人権についての自由研究の進め方など分からないことなど相談を行っています。

②親子平和フィールドワーク

とき：8月9日（日）午前10時～12時

ところ：糸満市平和祈念公園内

参加費：200円 定員：30名

平和祈念公園内の戦跡をまわって、沖縄戦を追体験しながら考えるフィールドワークです。

③親子で学ぶ沖縄戦

とき・ところ：8月8日（土）午前10時～12時

定員：50名

平和講話を聞いて、学芸員と展示室を見学します。

④平和アニメ上映会

とき：8月7日（金）、9日（日）午後2時～3時30分

ところ：資料館1階 祈念ホール

戦争に関するアニメを観て、「平和の大切さ」を考えます。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、実施できなかった。



沖縄県平和祈念資料館でまなぶ
夏休み子ども向け企画

平和についてみんなと考えよう！

自由研究そうだん室
平和や人権について自由研究の進め方など分からないことなど相談を行っています。

とき：8月1日（土）～31日（月）
午前10時～午後5時
ところ：資料館1階 情報ライブラリー
申し込みは不要です。

親子平和フィールドワーク
平和祈念公園内をめぐって、戦跡を見学しながら考えよう！

とき：8月9日（日）午前10時～12時
糸満市平和祈念公園内
参加費：200円（保険料等）
定員：30名
申し込み方法：電話・来館にて
持ち物：水筒、筆記用具

親子で学ぶ沖縄戦
平和講話を聞いて、学芸員と展示室を見学します。

とき：8月8日（土）午前10時～12時
糸満市平和祈念公園内
定員：50名
申し込み方法：電話・来館にて
持ち物：水筒、筆記用具

親子で学ぶ沖縄戦
戦争に関するアニメを観て、「平和の大切さ」を考えます。

とき：8月7日（金）、9日（日）午後2時～3時30分
糸満市平和祈念公園内
定員：50名
申し込み方法：電話・来館にて
持ち物：水筒、筆記用具

問い合わせ・申し込みは 毎日午前9時～午後5時まで
TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
HP <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>
沖縄県平和祈念資料館

沖縄県平和祈念資料館主催
平和アニメ上映会

8月7日（金）午後2時から3時30分

ところ：資料館1階 祈念ホール

入場無料

8月9日（日）午後2時から3時30分

平和講話を聞いて、学芸員と展示室を見学します。

問い合わせ・申し込みは 毎日午前9時～午後5時まで
TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947
HP <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>
沖縄県平和祈念資料館

2 教育機関との連携

(1) 平和講話

設立理念にうたわれた「沖縄戦の歴史的教訓を正しく次代に伝え、もって恒久平和の樹立に寄与する」ことを具体化したものに県内の小中高校、特別支援学校等に実施している平和講話があります。

児童・生徒が常設展示室を見学する前に、沖縄戦に至るまでの歴史的な流れや戦闘の経緯、常設展示室の紹介などを、要点をおさえて60分程度で説明し、平和のために一人ひとりが取り組めることは何かを考えさせる内容となっています。

2020（令和2）年度 平和講話実施状況 総計48校（57回）〔3,181人〕

- ・小学校校45校（50回）〔2,605人〕
- ・中学校1校（3回）〔294人〕
- ・高等学校1校（3回）〔250人〕
- ・特別支援学校1校（1回）〔18人〕
- ・適応指導教室1校（1回）〔14人〕

(2) 離島・遠隔地講師派遣事業

沖縄県内の小中高校で、所在地が離島または遠隔地にあり、当館での平和講話が受講困難な学校(※)に対して、講師が学校に出向き平和講話を行うことができる取り組みを実施しています。当館における展示室見学の事前または事後学習として、平和講話を実施しています。

2020（令和2）年度 離島・遠隔地講師派遣事業実施状況

※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策等のため実施していない。

【※対象について】

- ① 沖縄県内の学校教育法における小学校、中学校及び高等学校で、所在地が小中学校は国頭地区・恩納村、高等学校・特別支援学校は北部地区にあって、当館での平和講話の受講が困難なもの。
- ② いじめや疾病等の理由で、学校教育法に定める学校に通うことができない児童生徒の教育支援を行っている、いわゆるフリースクールで、所在地が沖縄県内の離島または遠隔地にあって、当館での平和講話受講が困難なもの。

(3) 沖縄少年院連携事業

平成30年度より、沖縄少年院の院生を対象にした平和学習の受け入れを始めました。

平和講話や常設展示室観覧、平和の礎や壕などの摩文仁戦跡フィールドワークを通して、沖縄戦を学びました。

学習を終えた子ども達は、「今後は、人を傷つけたり苦しませたりすることなく自分で平和を作っていけるよう…」[「…戦争が怖いのではなく『人間がとても怖い』と思いました。」「また、平和祈念資料館に足を運び、自分達若い世代ができる事はないのかと、考えて生きたい。」「自分には最近一歳になる甥がいますが口をおさえつけるのは絶対にできませんし、あの母親の気持ちを考えると、とても悲惨の一言に尽きると思いました。』と感想を述べ、沖縄戦の実相と自分自身を重ね合わせ、これまでの自分の過ごし方や今後の生き方について考える場となりました。

2020（令和2）年度 沖縄少年院連携事業実施状況

- ・総計3回（延べ11人）受け入れ

(4) 大学連携事業

県内大学生を対象に、当館来館による平和学習や当館職員派遣による出張講話を実施しています。

【令和2年度 大学連携事業実施状況】

【参加者】 沖縄大学 吉井ゼミ学生15人 教授1名

【日 時】 2020（令和2）年7月24日（金）13:30～16:30

【内 容】 平和講話、常設展示室見学、フィールドワーク（平和の礎、健児之塔等）

第4室 証言文差し替えについて

常設展示室(第4室)に設置されている戦争体験証言文(24カ所)をリニューアルしました。点字シールを加えた証言文も用意しています。

(5) 博物館学芸員実習

当館では、県内大学の要望に応じて、当館学芸員の指導により学芸資格取得のための学芸業務(資料収集・保存活動・展示活動、教育普及活動)全般に係わる研修を実施した。研修では、学芸員としての自覚の醸成と基礎的知識や技能を習得する機会を提供している。

【期 間】 2020(令和2)年9月8日(火)～9月16日(水)

※9月12日～9月13日を除く7日間

- 【内 容】
- ①資料整理作業等(分類・保管・登録)
 - ②野外実習(類似博物館・戦跡等の見学)
 - ③調査研究(沖縄戦について、地域調査・実習レポート作成)
 - ④教育普及(平和教育・学校連携について)
 - ⑤その他資料館の業務補助等

【実習生】 沖縄国際大学1名

※「臨時休館延長」(8月1日～9月5日)のため、当初予定していた実施期間(8月19日～27日)を上記に変更した。



祈念公園内の戦跡見学

証言記録を現場で聴く大切さを感じたフィールワーク



「自分史」から祖父が糸満市真栄里出身ということがわかり、「平和の礎」に刻銘された曾祖父の名前と仏壇の位牌にある名前が異なっていることを発見し、友の会顧問の大城藤六先生に質問や聞き取り調査を行った。



3 講座・講習会・研修会

(1) 平和講話等利用案内説明会

沖縄戦の実相と歴史的教訓を後世へ正しく伝え、平和発信に関する当館の取り組みを広く県内小中高等学校及び特別支援学校等の教育現場に周知し、平和学習における連携を深め、児童・生徒に平和を大切にする「沖縄のこころ」を育むことを目的として、毎年、年度当初に説明会を開催している。

※2020（令和2）年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため説明会の実施はできなかったが、例年は以下の内容で実施している。

[対象者] 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭等

[内 容] (1) 沖縄県平和祈念資料館について（設立理念、資料館の概要等について）

(2) 事業紹介（児童・生徒の平和メッセージ展等）

(3) 教育機関との連携事業

① 県内学校向け平和講話

② 平和学習キット、証言映像貸出等

③ 離島・遠隔地講師派遣事業

(4) 平和学習実践事例報告

(5) 質疑応答



平和講話

(2) 県立学校初任者研修会における講義

県立高等学校及び県立特別支援学校において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[日 時] 2020（令和2）年5月7日（木）14時00分～16時00分

[場 所] 沖縄県立総合教育センター 多目的研修棟

[受講者] 県立学校初任者 78名

[内 容] 講義：「学校における平和学習・教育に望むもの」

[方 法] 録画によるオンデマンド配信

(3) 幼稚園・認定こども園初任者研修会における講義

幼稚園及び認定こども園において本年度新採用された教諭を対象とする沖縄県立総合教育センター主催の初任者研修において講義を行った。主に沖縄戦の概要や県の平和行政、当資料館の設立理念や事業内容、平和教育の実際と課題、進め方について理解を図り、平和教育の実践力向上を図ることをねらいとしている。

[日 時] 2020（令和2）年5月28日（木）14時00分～16時00分

[場 所] 沖縄県立総合教育センター 多目的研修棟

[受講者] 幼稚園・認定こども園初任者 103名

[内 容] 講義：「学校教育における平和教育の意義と必要性について」

[方 法] 録画によるオンデマンド配信

(4) 那覇教育事務所 初任者研修及び中堅教諭等資質向上研修会における講義、館内視察研修

教員の初任者及び中堅教諭を対象とする那覇教育事務所主催の研修会において講義・常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 2020（令和2）年7月30日（木）14時30分～16時45分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室・常設展示室
[受講者] 那覇教育事務所管内 小・中学校54名、指導主事3名 計57名
[内 容] 講義：「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」
見学：常設展示室の見学ポイント案内（学芸班職員3名）

(5) 島尻教育事務所 初任者研修における講義、館内視察研修

教員の初任者及び中堅教諭を対象とする那覇教育事務所主催の研修会において講義及び平和の礎・常設展示室見学を行った。平和教育の状況と資料館の役割について学び、資料館の活用法や平和教育のあり方について理解を深め、指導の充実に資する事をねらいとしている。

[日 時] 2020（令和2）年10月15日（木）14時00分～16時45分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室・常設展示室、平和の礎

[受講者] 島尻教育事務所管内 小・中学校61名、指導主事3名 計64名

[内 容] 講義：「沖縄県の平和教育について～平和教育の現状と資料館の役割～」

見学：常設展示室・平和の礎の見学ポイント案内（学芸班職員3名）

(6) 沖縄県新採用職員研修における講義

県の新採用職員を対象として、「沖縄戦と公務員」をテーマに講義を行った。平和を希求する精神や公務員の原点たる奉仕及び公務遂行の精神を学び、沖縄県職員としての意識の高揚及び能力向上を図ることを主なねらいとしている。講義の後、常設展示室を視察し、沖縄戦の実相と戦時行政について理解を深めた。

[日 時] 2020（令和2）年12月23日（水）14時10分～15時20分

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 大会議室（録画によるオンデマンド配信）

[内 容] 講義：「沖縄県の平和行政について～沖縄戦の記憶の継承と平和発信を考える～」

(7) 沖縄県平和祈念資料館講習会

県内の旅行・観光等の関係機関において、当館への案内業務に携わる方々を対象に、本館の設立理念・目的や役割、施設・設備及び展示内容や沖縄戦について理解・認識を深めてもらい、本館の利活用並びに案内業務の推進を図ることを目的に、講習会を毎年開催している。

[日 時] 2021（令和3）年3月18日（木）13:30～16:00（16:00～17:00希望者のみ）

[場 所] 沖縄県平和祈念資料館 2階大会議室

[受講者] 県内観光業、旅行業および案内ガイド等関係機関40名

[内 容] ・平和祈念資料館の概要について
・講話：「沖縄戦の特徴と教訓」（講師：平和祈念財団 平田 守 氏）
・平和祈念資料館展示の内容について
・2021（令和3）年度年間事業計画
・館内案内及びポイント解説（希望者のみ）



会場の様子



平和講話の様子



館内を案内する職員

Ⅵ 広報活動・出版物等

- 『沖縄県平和祈念資料館 年報 第20号』
2020（令和2）年度の当館事業の実績報告に関わる行政資料
入館者の概要、事業内容や活動報告等 A 4版86頁、500部を2020（令和2）年7月発行

- 「沖縄県平和祈念資料館だより」
2020（令和2）年度の資料館事業報告や事業計画等について周知させる広報誌
第39号を2020（令和2）年8月にA 4版8頁、2,500部発行
第40号を2021（令和3）年3月にA 4版8頁、2,500部発行

- 沖縄県平和記念資料館リーフレット
日本語 2021（令和3）年3月 150,000部発行
英語 2021（令和3）年3月 40,000部発行
中国語 2021（令和3）年3月 50,000部発行

- 『戦の語り部功労者感謝状贈呈式及びパネル展』
展示チラシ 4,000枚、展示ポスター 800枚
報告書 2021（令和3）年2月、72頁、800部発行

- 2020（令和2）年度 特別展「戦時中の少女たちがつづった『学級日誌』
～滋賀県瀬田国民学校五年智組～ 1944－1945」
展示チラシ 3,000枚 ポスター 800枚
図録12頁 600部発行

- 「第30回 児童・生徒のメッセージ事業」
募集チラシ 4,500枚発行

- 「第30回 児童・平和メッセージ事業」
開催告知ポスター 650枚、チラシ 4,000枚発行

- 『第30回 児童・生徒の平和メッセージ 実施報告書』
展示会の模様、募集事項、図画・作文・詩の最優秀・優秀作品入選作品等を掲載
A 4版82頁、900部 2021（令和3）年3月発行

I
概

要

II
事
調
査
研
究
業
務III
事
展
示
企
業
画IV
活
資
料
収
集
業
務V
事
教
育
普
業
及VI
出
広
報
版
活
動
等VII
事
そ
の
他
業
のVIII
入
館
者
状
況IX
祈
八
重
山
平
館
和X
活
友
動
の
報
告
会XI
規
則
係
条
例
要
綱XII
入
館
度
状
況
別

Ⅶ その他の事業

1 2020（令和2）年度「沖縄平和啓発プロモーション事業 （戦後の戦争体験者証言映像収録・編集・多言語翻訳業務）」

(1) 実施目的

沖縄戦体験者や南洋諸島、台湾、満州、日本本土等、沖縄以外の地で終戦を迎えられた方々を対象に、それぞれの戦争体験や沖縄戦終結直後の沖縄における戦後の混乱期、復興期の記憶を次世代に継承するために証言映像収録を実施しました。

(2) 実施主体

- ・主催 沖縄県（主管 沖縄県平和祈念資料館）
- ・受託事業者 証言映像収録・編集業務：株式会社シネマ沖縄
多言語翻訳業務：株式会社沖縄コングレ

(3) 事業期間

- ・2020（令和2）年4月1日～2021（令和3）年3月31日

(4) 証言映像収録者

- ・県内在住の戦争体験者30名
- ・証言者の平均年齢87.4歳

(5) 事業計画

- ・2020（令和2）年度
証言映像収録、編集（字幕挿入）、多言語翻訳（英語・中国語・韓国語・スペイン語・フランス語・ドイツ語・マレーシア語）
- ・2021（令和3）年度
多言語翻訳編集（ナレーション、字幕挿入）、WEB制作

2 事業成果

これまで当館では沖縄戦等の戦中の証言映像を約1,000名分収録してきましたが、当事業において初めて、戦前から戦後復興期に至る30名分の証言映像を収録することができました。戦場を生き抜き、戦後の混乱期に立ち上がり、沖縄を復興させてきたことについて、「先輩方」が私たちに語りかけています。地獄のような戦場を目の当たりにし、戦後75年を経た現在でも思い出すと辛くなる体験ですが、二度と戦争を繰り返してほしくないという思いから、重い口を開いてくださいました。終戦直後の食糧難の時代にみんなで協力しながら、たくましく、焼け野原を立ち上がってきました。その頃の話を話す先輩方の瞳はとても優しく、力強さを感じました。現在、新型コロナウイルスとの闘いが全世界で続いています。先輩方の語る証言には、この状況を乗り越えるヒントがあると思います。当館ホームページのWEB公開は2022（令和4）年3月を予定しています。



満州で過ごした少年時代の思い出を語る川満恵清さん

Ⅷ 入館者状況

1 月別入館者数

年月	個人入館者数 ※1		団体入館者数 ※1		入館者総数 ※1			開館日数	一日平均入館者数 ※1	入館者総数 ※2	
	大人	小人	合計	大人	小人	合計	大人				小人
2020年4月	441 (42)	116 (2)	557 (44)	19 (0)	1 (0)	20 (0)	460 (42)	117 (2)	577 (44)	64	1,627
2020年5月	180 (6)	31 (0)	211 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	180 (6)	31 (0)	211 (6)	19	1,768
2020年6月	2,827 (840)	974 (453)	3,801 (1,293)	3 (3)	68 (68)	71 (71)	2,830 (843)	1,042 (521)	3,872 (1,364)	129	11,329
2020年7月	2,936 (128)	495 (25)	3,431 (153)	72 (50)	632 (608)	704 (658)	3,008 (178)	1,127 (633)	4,135 (811)	148	7,507
2020年8月	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	0
2020年9月	1,575 (51)	301 (2)	1,876 (53)	12 (12)	166 (166)	178 (178)	1,587 (63)	467 (168)	2,054 (231)	86	3,907
2020年10月	2,868 (141)	343 (11)	3,211 (152)	223 (114)	1,245 (498)	1,468 (612)	3,091 (255)	1,588 (509)	4,679 (764)	151	7,670
2020年11月	4,099 (208)	471 (5)	4,570 (213)	460 (110)	6,164 (1075)	6,624 (1185)	4,559 (318)	6,635 (1080)	11,194 (1398)	373	14,116
2020年12月	2,984 (193)	413 (5)	3,397 (198)	732 (63)	3,249 (935)	3,981 (998)	3,716 (256)	3,662 (940)	7,378 (1196)	264	10,128
2021年1月	1,136 (60)	166 (2)	1,302 (62)	29 (12)	527 (185)	556 (197)	1,165 (72)	693 (187)	1,858 (259)	66	3,563
2021年2月	1,068 (48)	210 (2)	1,278 (50)	68 (24)	182 (182)	250 (206)	1,136 (72)	392 (184)	1,528 (256)	55	3,585
2021年3月	2,884 (185)	1,051 (11)	3,935 (196)	653 (45)	5,502 (534)	6,155 (579)	3,537 (230)	6,553 (545)	10,090 (775)	325	11,976
合計	22,998 (1902)	4,571 (518)	27,569 (2420)	2,271 (433)	17,736 (4251)	20,007 (4684)	25,269 (2335)	22,307 (4769)	47,576 (7104)	171	77,176

() は内数で無料入場者数

※1 は平和祈念資料館2階常設展示室に入室した人数

※2 は平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数

2 年度別入館者数

年度別	有料観覧										計	観覧者 総数	開館 日数	平均
	観覧券種別					出身別								
	大人個人 (%)	大人団体 (%)	小人個人 (%)	小人団体 (%)	その他 (%)	県内	県外	外国	その他	その他				
2000年度	161,361(38)	71,140(17)	24,658(6)	163,644(39)	111,401	305,812	3,590	420,803	60,215	481,018	310	1,552		
2001年度	111,197(37)	62,902(21)	18,195(6)	107,802(36)	43,820	251,983	4,293	300,096	36,149	336,245	313	1,074		
2002年度	97,221(29)	40,624(12)	17,362(5)	184,047(54)	27,955	307,328	3,971	339,254	39,539	378,793	314	1,206		
2003年度	101,015(27)	37,618(10)	17,236(5)	214,535(58)	29,643	337,730	3,031	370,404	36,748	407,152	317	1,284		
2004年度	91,980(26)	33,004(9)	16,329(5)	215,603(60)	31,597	321,305	4,014	356,916	37,195	394,111	312	1,263		
2005年度	96,355(25)	35,303(9)	18,972(5)	230,791(61)	41,577	336,415	3,429	381,421	34,741	416,162	314	1,325		
2006年度	107,813(26)	33,767(8)	21,342(5)	253,821(61)	14,330	398,291	4,122	416,743	32,987	449,730	359	1,253		
2007年度	107,767(26)	35,679(9)	20,563(5)	245,093(60)	13,504	390,661	4,937	409,102	30,394	439,496	358	1,228		
2008年度	96,789(24)	32,933(8)	18,998(5)	252,573(63)	8,985	388,269	4,039	401,293	31,870	433,163	359	1,207		
2009年度	86,412(23)	34,241(9)	16,252(4)	237,756(64)	9,634	358,583	6,444	374,661	32,712	407,373	359	1,135		
2010年度	81,124(22)	31,767(9)	15,092(4)	234,255(65)	9,906	345,521	6,811	362,238	33,992	396,230	355	1,116		
2011年度	69,648(19)	28,662(8)	11,586(3)	249,400(70)	9,199	344,282	5,815	359,296	32,336	391,632	355	1,103		
2012年度	70,341(21)	29,600(9)	10,469(3)	227,827(67)	8,869	322,946	6,422	338,237	29,318	367,555	352	1,044		
2013年度	74,165(22)	26,641(8)	11,004(3)	232,295(68)	7,947	328,333	7,825	344,105	31,306	375,411	359	1,046		
2014年度	70,529(21)	27,000(8)	10,276(3)	223,917(68)	7,486	314,598	9,638	331,722	30,370	362,092	353	1,026		
2015年度	78,673(23)	29,449(9)	12,481(4)	218,478(64)	9,038	317,869	12,174	339,081	32,287	371,368	358	1,037		
2016年度	75,390(22)	27,261(8)	12,454(4)	226,001(66)	7,963	319,109	14,034	341,106	31,396	372,502	356	1,046		
2017年度	77,008(24)	26,842(8)	13,428(4)	209,461(64)	9,329	299,935	17,475	326,739	29,880	356,619	356	1,002		
2018年度	73,156(23)	26,482(8)	13,434(4)	204,277(64)	7,793	292,491	17,065	317,349	31,274	348,623	349	999		
2019年度	75,543(25)	23,743(8)	11,951(4)	194,972(64)	5,424	286,333	14,452	306,209	33,422	339,631	352	965		
2020年度	21,096(52)	1,838(5)	4,053(10)	13,485(33)	3,542	34,994	1,936	40,472	7,104	47,576	278	171		
累計								7,177,247	695,235	7,872,482	7,138	1,103		

参考

慰霊の日無料入館者数

年度	入館者数	年度	入館者数
2000年度	4,966	2010年度	5,479
2001年度	3,157	2011年度	3,665
2002年度	4,750	2012年度	3,240
2003年度	4,259	2013年度	3,797
2004年度	4,849	2014年度	3,239
2005年度	3,815	2015年度	4,007
2006年度	2,813	2016年度	3,701
2007年度	3,785	2017年度	3,619
2008年度	4,257	2018年度	3,333
2009年度	4,649	2019年度	2,888
		2020年度	1,038
		合計	79,306

2020年度コロナ感染拡大に係る団体予約キャンセル数

月	件数	人数
4月	90	12,620
5月	11	1,515
6月	7	790
7月	17	1,605
8月	63	10,570
9月	42	8,271
10月	45	8,635
11月	43	7,759
12月	75	13,575
1月	101	18,361
2月	68	11,481
3月	38	6,054
合計	600	101,236

3 月別県内・県外学校、その他団体見学者（小人）観覧状況

月	児童・生徒・学生										その他団体見学者（小人）				
	県内					県外					計				
	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学	計	小学校	中学校	高等学校	大学	計
4月	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
5月	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
6月	団体数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
7月	団体数	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(8)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
8月	団体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
9月	団体数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
10月	団体数	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(13)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
11月	団体数	22	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(22)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
12月	団体数	915	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(915)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
1月	団体数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(3)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2月	団体数	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(6)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
3月	団体数	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
人数合計	団体数	3,436	259	597	124	13,443	2,417	11,758	124	17,735	3,436	2,417	11,758	124	17,735
	人数	(3,395)	(259)	(597)	(597)	(4,251)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3,395)	(259)	(597)	(597)	(4,251)

() は内数で無料入館者数

- I 概 要
- II 調査研究
- III 展示企画
- IV 資料収集・活用事業
- V 教育普及
- VI 広報活動等
- VII その他の事業
- VIII 入館者状況
- IX 八重山平和記念館
- X 友 会 の 報 告 会
- XI 関係条例・規則・要綱
- XII 年度状況別

4 市町村別団体入館者数

市町村名		小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総 計	
		学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1	那 覇 市	6	458	0	0	1	303	0	0	7	761	5	556	12	1,317
2	うるま市	3	207	0	0	1	240	0	0	4	447	0	28	4	475
3	宜野湾市	2	206	0	0	0	0	0	0	2	206	0	10	2	216
4	宮古島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	石 垣 市	2	29	0	0	0	0	0	0	2	29	0	7	2	36
6	浦 添 市	1	99	0	0	1	20	0	0	2	119	0	8	2	127
7	名 護 市	10	364	0	0	0	0	0	0	10	364	0	47	10	411
8	糸 満 市	5	322	0	0	0	0	0	0	5	322	0	21	5	343
9	沖 縄 市	3	193	0	0	0	0	0	0	3	193	0	13	3	206
10	豊見城市	8	539	0	0	0	0	0	0	8	539	0	25	8	564
11	南 城 市	2	100	0	0	0	0	0	0	2	100	0	6	2	106
12	国 頭 村	2	35	0	0	0	0	0	0	2	35	0	8	2	43
13	大宜味村	0	0	0	0	1	26	0	0	1	26	0	5	1	31
14	東 村	1	13	0	0	0	0	0	0	1	13	0	4	1	17
15	今帰仁村	2	56	0	0	0	0	0	0	2	56	0	8	2	64
16	本 部 町	2	96	0	0	0	0	0	0	2	96	0	10	2	106
17	恩 納 村	3	45	0	0	0	0	0	0	3	45	0	6	3	51
18	宜野座村	3	71	0	0	0	0	0	0	3	71	0	9	3	80
19	金 武 町	2	86	0	0	0	0	0	0	2	86	0	11	2	97
20	伊 江 村	2	34	0	0	0	0	0	0	2	34	0	7	2	41
21	読 谷 村	0	0	1	259	0	0	0	0	1	259	0	15	1	274
22	嘉手納町	3	155	0	0	0	0	0	0	3	155	2	66	5	221
23	北 谷 町	1	92	0	0	0	0	0	0	1	92	0	6	1	98
24	北中城村	1	17	0	0	0	0	0	0	1	17	0	2	1	19
25	中 城 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	西 原 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	八重瀬町	2	99	0	0	0	0	0	0	2	99	1	71	3	170
28	与那原町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29	南風原町	0	0	0	0	1	8	0	0	1	8	0	8	1	16
30	久米島町	4	78	0	0	0	0	0	0	4	78	0	18	4	96
31	渡嘉敷村	1	10	0	0	0	0	0	0	1	10	0	2	1	12
32	座間味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	粟 国 村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	渡名喜村	1	5	0	0	0	0	0	0	1	5	0	2	1	7
35	南大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	北大東村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	伊平屋村	2	16	0	0	0	0	0	0	2	16	0	6	2	22
38	伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	多良間村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	竹 富 町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
41	与那国町	1	11	0	0	0	0	0	0	1	11	0	3	1	14
合 計		75	3,436	1	259	5	597	0	0	81	4,292	8	988	89	5,280

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

5 都道府県別団体入館者数

市町村名	小学校		中学校		高等学校		短大・大学・専修		学校 総数	人数	その他の団体		総 計	
	学校	人数	学校	人数	学校	人数	学校	人数			団体	人数	団体数	人数
1 北海道	0	0	0	0	4	941	0	0	4	941	0	52	4	993
2 青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 岩手県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 宮城県	0	0	0	0	3	227	0	0	3	227	0	20	3	247
5 秋田県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 山形県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 福島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 茨城県	0	0	0	0	1	40	0	0	1	40	1	22	2	62
9 栃木県	0	0	0	0	4	689	0	0	4	689	0	39	4	728
10 群馬県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 埼玉県	0	0	0	0	12	2,658	0	0	12	2,658	1	169	13	2,827
12 千葉県	0	0	0	0	2	300	0	0	2	300	0	18	2	318
13 東京都	0	0	2	260	11	1,665	0	0	13	1,925	4	209	17	2,134
14 神奈川県	0	0	0	0	8	1,292	1	24	9	1,316	3	96	12	1,412
15 新潟県	0	0	0	0	1	233	0	0	1	233	1	29	2	262
16 富山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 石川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 福井県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 長野県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 岐阜県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 静岡県	0	0	0	0	3	218	0	0	3	218	0	16	3	234
23 愛知県	0	0	7	1,122	7	326	1	100	15	1,548	0	108	15	1,656
24 三重県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25 滋賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26 京都府	0	0	0	0	4	406	0	0	4	406	0	38	4	444
27 大阪府	0	0	4	266	6	1,294	0	0	10	1,560	1	102	11	1,662
28 兵庫県	0	0	0	0	2	312	0	0	2	312	0	15	2	327
29 奈良県	0	0	0	0	1	55	0	0	1	55	0	6	1	61
30 和歌山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31 鳥取県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 島根県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 岡山県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 広島県	0	0	3	360	2	501	0	0	5	861	1	221	6	1,082
35 山口県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	75	1	75
36 徳島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37 香川県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38 愛媛県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 高知県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40 福岡県	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	19	1	20
41 佐賀県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42 長崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43 熊本県	0	0	2	150	0	4	0	0	2	154	1	29	3	183
44 大分県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45 宮崎県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46 鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	18	2,158	71	11,161	2	124	91	13,444	15	1,283	106	14,727
47 沖縄県	75	3,436	1	259	5	597	0	0	81	4,292	8	988	89	5,280

※学校数や団体数が「0」で人数が表示されているのは、大人の団体に含まれる子供、修学旅行・子供の団体の引率等です。

Ⅸ 八重山平和祈念館

1 概要

「戦争マラリア」の実相を後世に正しく伝えるとともに、人間の尊厳が保障される社会の構築と、八重山地域から世界に向けて恒久平和の実現を訴える「平和の発信拠点」の形成を目指す。

(1) 設立経過

1989年 (平成元)	5月28日	戦争マラリア犠牲者の遺族らが、篠原武夫琉球大学教授を会長に「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者援護会」結成。国家補償を求めて活動を開始する。
	10月16日	沖縄県議会（9月定例会）において、「沖縄戦強制疎開マラリア犠牲者の遺族補償に関する意見書」が決議される。
1995年 (平成7)	4月25日	与党戦後50年問題プロジェクトチームで、八重山地域を対象とする慰藉事業の実施で合意。
	12月25日	平成8年度国庫予算において、マラリア慰藉事業費として総額3億円が認められる。 慰藉事業の内訳 ①慰霊碑建立 ②八重山平和祈念館建設 ③マラリア死没者慰藉の資料収集・編纂事業 ④マラリア死没者慰藉のための追悼事業
1997年 (平成9)	3月31日	建物竣工
1998年 (平成10)	1月27日	八重山平和祈念館基本計画検討委員会開催（3月17日まで 計3回）
	5月	八重山平和祈念館基本計画策定
	11月20日	八重山平和祈念館監修委員会開催（翌年2月22日まで 計3回） 八重山平和祈念館展示設計及び展示製作業務発注（平成11年3月まで）
1999年 (平成11)	3月	「沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例」一部改正。「八重山平和祈念館」は「沖縄県平和祈念資料館」の分館となる。
	5月28日	八重山平和祈念館開館式典
	5月29日	八重山平和祈念館一般公開

(2) 施設の概要

- ① 延べ面積：520㎡
- ② 各室面積
 - 第1展示室：130㎡
 - 第2展示室：120㎡
 - 保管室：20㎡
 - 図書室：30㎡
 - 会議室：45㎡
 - 事務室：30㎡



八重山平和祈念館外観

(3) 開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

(4) 休館日

毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館）及び年末年始（12月29日から1月3日まで）

(5) 観覧料

	通常料金	団体料金 (※団体は20名以上)
大人	100円	70円
小人 (小学～大学生)	50円	35円

(6) 常設展の展示構成

- ①アジア・太平洋戦争に起因する沖縄戦
- ②沖縄戦と八重山
- ③戦争マラリアの悲劇
- ④マラリア根絶に向かって
- ⑤戦争マラリア援護会の活動
- ⑥八重山地域における平和発信拠点を目標して

(7) 展示の内容

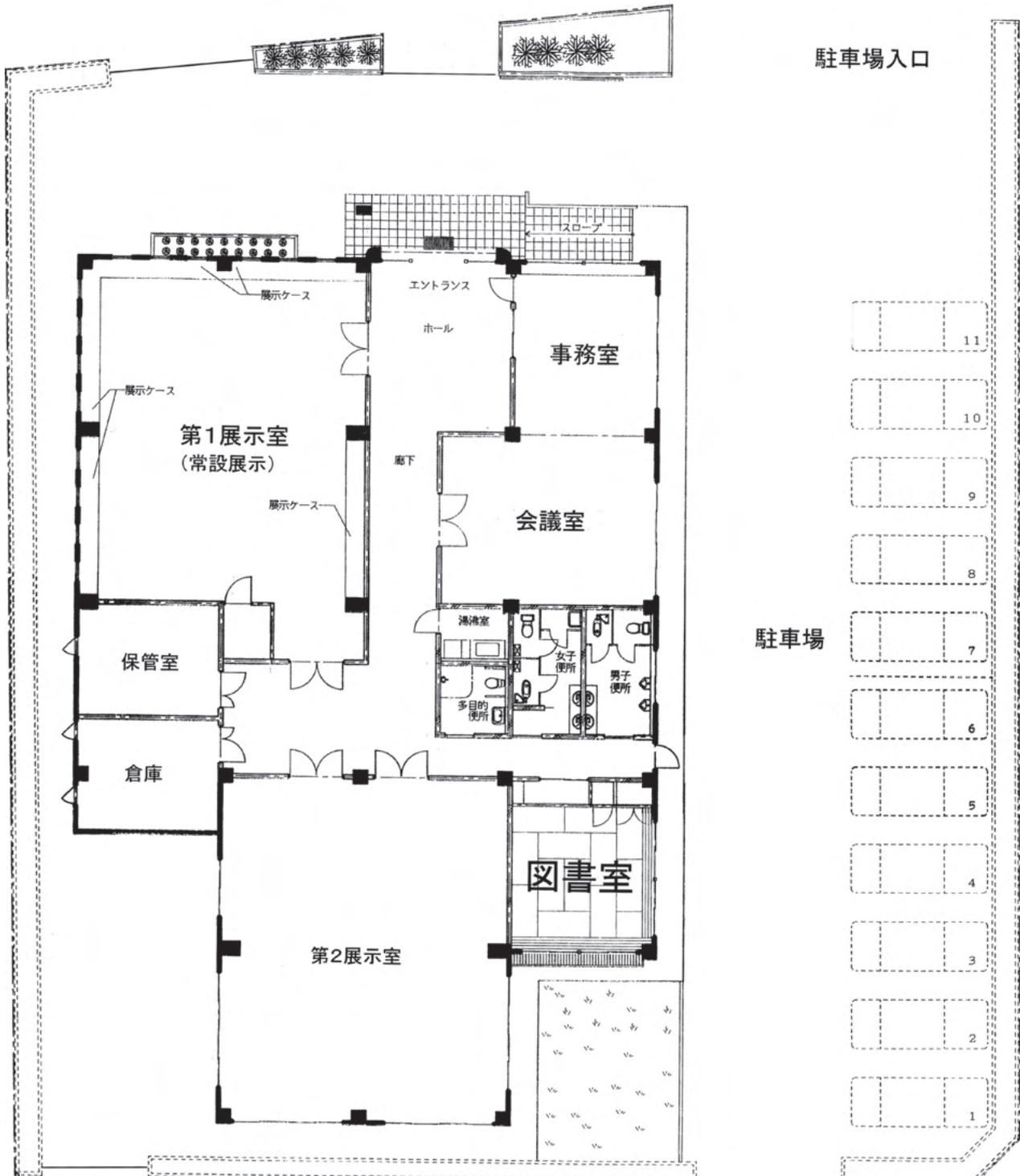
- ①写真、地図、絵のパネル等
- ②戦前の切手、紙幣、硬貨等
- ③遺品類（ハガキ、キセル等）
- ④高熱に苦しむ母子像（マラリア患者の看病の様子）
- ⑤児童生徒の平和メッセージ展の八重山地区受賞作品（詩、図画、作文）



うりずんの季節には、色とりどりの花が通る人の目を楽しませ当館の来館者を出迎えてくれます

2 施設

平面図



3 事業概要

(1) 展示活動

① 企画展「体験者が描く沖縄戦」

平成17年に沖縄県とNHK沖縄放送局が主催で募集した「体験者が描く沖縄戦の絵」に寄せられた547点の中から、八重山諸島にゆかりのある作品を中心に27点を展示しました。

文章や映像の体験証言では伝えきれなかった戦争マラリアや地上戦の悲惨さを訴える絵から、来館者は、改めて現在の平和を見つめ直す機会となりました。

【期間】2020（令和2）年

6月19日（金）～7月19日（日）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】169名



企画展を観覧する親子

② 戦後75年企画展「写真・映像・証言で見る 八重山の戦争」

八重山諸島の10の島々について、島毎に地図や写真、映像、証言等を展示しました。証言は新たに収集したのもも含め28名の体験を、写真は戦前・戦中7点、戦跡等の現状写真27点及び動画1点を展示。戦跡など場所が特定できる写真や動画は、地図に紐付けし一目で場所をわかるように展示方法に趣向を凝らしました。

観覧者の多くは、身近な場所に今も戦跡が残っていることに驚き、75年前の出来事が決して他人事ではなく、私たちの島・地域であったことを実感しているようでした。当初は1月31日までの開催予定でしたが好評につき2月28日まで延長しました。

【期間】2020（令和2）年12月16日（水）～

2021（令和3）年2月28日（日）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】434名



展示の様子



展示の様子



企画展を観覧する児童

(2) 平和教育活動

① 初任者教諭対象見学説明会

平和学習の場として当館を活用いただくことを目的として、小中学校の初任者教諭を対象とした見学説明会を実施しました。26名の先生方にご参加いただき、当館の設立経緯、利用手続き、八重山の戦争、常設展示の解説を行いました。

【期間】2020（令和2）年
6月10日（水）、11日（木）、
12日（金）、25日（木）



研修の様子

② 慰霊の日アニメビデオ上映会

慰霊の日にちなみ、戦争に関するアニメや戦争体験者の証言DVDの上映会を実施しました。幅広い年齢層の来館者が、戦争マラリアを描いたアニメ「石の声」や、沖縄本島での地上戦を描いたアニメ「かんからさんしん」等を鑑賞し、八重山の戦争マラリアや沖縄本島の地上戦の実相を学び、平和について考える機会となりました。

【期間】2020（令和2）年6月23日（火）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室



アニメ「かんからさんしん」を鑑賞する様子

③ 「児童・生徒の平和メッセージ展」八重山会場

八重山会場では、八重山地区の入選作品を含む多くの作品の展示を行いました。

展示会場には、地域の児童生徒や入選者のご父兄等が訪れ、熱心に作品を観覧していました。

【期間】2020（令和2）年9月11日（金）～9月22日（火・祝）

【場所】八重山平和祈念館 第2展示室

【入場者】82名



展示の様子



展示の様子

(3) 調査研究活動

① 戦争体験者の証言収集

氏名	生まれ年	出身地	備考
と ま い ひろむ 戸 眞伊 さん 擴	昭和15年	竹富町（西表）	戦跡調査（7月）と併せて聞き取り
まさ き ゆずる 正 木 さん 譲	昭和9年	石垣市	
まさ き えみこ 正 木 さん 恵美子	昭和12年	与那国町	（旧姓：富里）
さ く がわ いさお 佐久川 さん 勲	昭和14年	石垣市	戦跡調査（10月）と併せて聞き取り
た もと てつ 田 本 さん 徹	昭和12年	石垣市	
は と ま のぼる 鳩 間 さん 昇	昭和10年	石垣市	

② 船浮の戦争遺跡群調査（竹富町（西表島））

船浮集落の南方に位置する地域一帯は、戦時中、海軍石垣島警備隊が構築したといわれる特攻艇の秘匿壕や発電機壕、海軍棧橋跡などの軍事施設跡を確認することができました。

【調査日】2020（令和2）年7月16日（木）



石積みが残る海軍棧橋跡

③ 祖内の住民避難壕（竹富町（西表島））

祖内集落には、戦時中、住民の避難壕であった金田家の壕、松山家の壕が現存しています。

【調査日】2020（令和2）年7月16日（木）



現存する住民避難壕

④ 南風見田の忘勿石（竹富町（西表島））

西表島の南東部に位置する南風見田の海岸には、戦時中、波照間国民学校の校長であった識名信升氏が岩盤に文字を刻んだ忘勿石が現在も残っています。

【調査日】2020（令和2）年
7月17日（金）



忘勿石之碑は、台風により刻銘板が破損している



「忘勿石 ハテルマ シキナ」と刻まれている

⑤ 武名田原の住民避難地（石垣市）

於茂登前岳の南東部の宮良川上流は武名田原と呼ばれ、戦時中は旧大浜村平得集落住民の強制疎開地でした。現在は当時の様子を物語る物がほとんどないため、実際に避難した方から当時の様子を聞き取り、ビデオカメラで撮影しました。

【調査日】2020（令和2）年10月26日（月）



体験証言聞き取り及び動画撮影の様子



実際に使用したかまど跡

⑥ 名蔵白水の戦争遺跡群（石垣市）

名蔵平野の北東部に位置する白水地域の山中は、戦時中、旧日本軍が駐屯し、地元（字登野城、字大川）住民や官公庁の避難場所でもあった。現在でも名蔵川の支流に沿うように走る山道の周辺には、八重山支庁壕や御真影を奉護した壕、塹壕、井戸跡、かまど跡などが残っています。

【調査日】2020（令和2）年11月30日（月）、
2021（令和3）年3月22日（月）



登野城住民避難小屋近くのかまど跡

⑦ 大浜の掩体壕（石垣市）

大浜の掩体壕は、旧石垣空港の滑走路北側にある農道から入った原野内に1基現存しています。

【調査日】2020（令和2）年11月30日（月）



茂みの中に1基残った掩体壕

I 概
要
II 事 調 査 研 究
III 事 展 示 企 業 画
IV 活 資 料 収 集 事 業
V 事 教 育 普 業 及
VI 出 広 報 活 動 等
VII 事 そ の 他 業 の
VIII 入 館 者 状 況
IX 祈 八 重 山 平 和 館
X 活 友 動 の 報 告 会
XI 規 関 係 条 例 要 綱
XII 入 年 館 度 状 況 別

4 平和祈念資料館入館者数

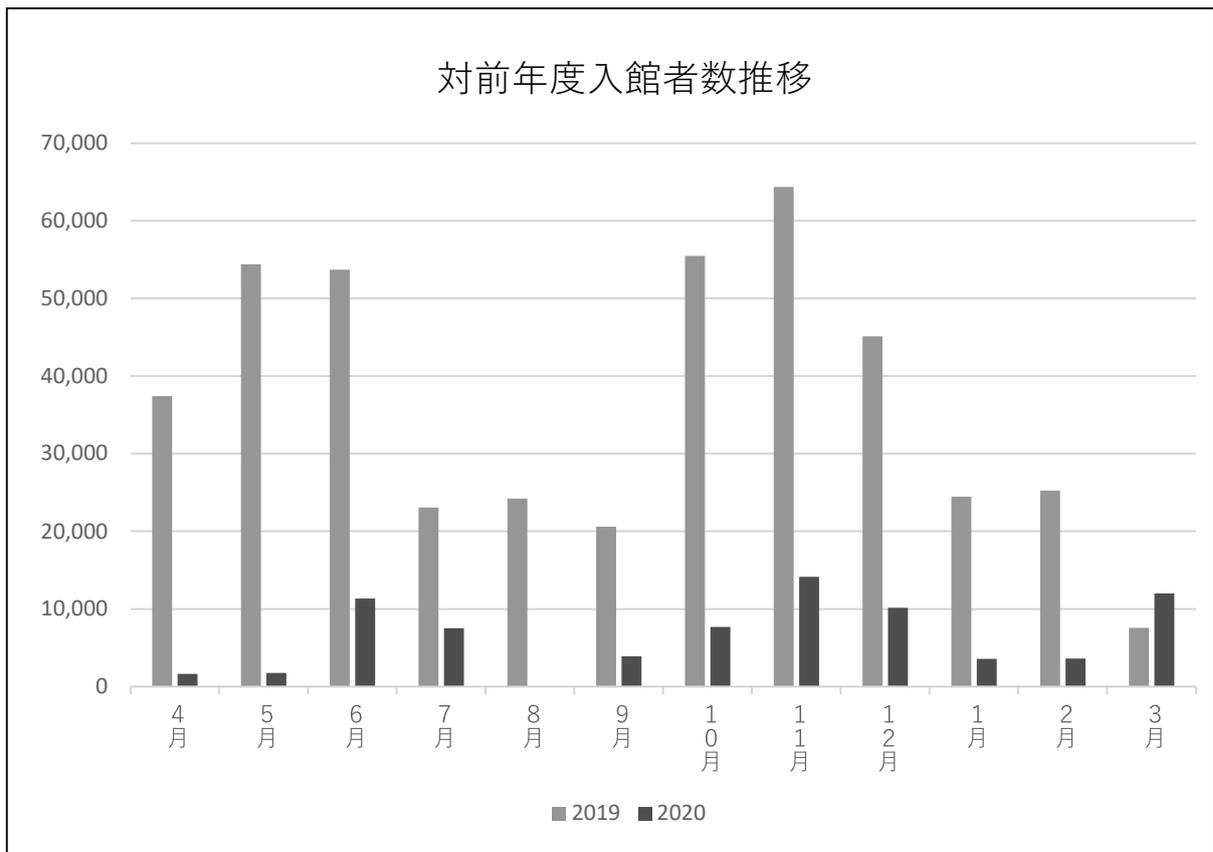
2019年度

月	常設展示室 (有料)	総入館者数 ※
4月	27,894	37,414
5月	45,099	54,425
6月	39,062	53,704
7月	13,038	23,069
8月	14,321	24,196
9月	13,325	20,586
10月	49,671	55,482
11月	58,335	64,357
12月	39,329	45,116
1月	16,929	24,454
2月	18,109	25,259
3月	4,519	7,557
合計	339,631	435,619

2020年度

月	常設展示室 (有料)	総入館者数 ※
4月	577	1,627
5月	211	1,768
6月	3,872	11,329
7月	4,135	7,507
8月	0	0
9月	2,054	3,907
10月	4,679	7,670
11月	11,194	14,116
12月	7,378	10,128
1月	1,858	3,563
2月	1,528	3,585
3月	10,090	11,976
合計	47,576	77,176

※ 平和祈念資料館出入口に設置している機器で把握した人数。



X 沖縄県平和祈念資料館友の会

1 活動内容

- (1) 県内学校及び地域における平和学習支援
- (2) 平和講話
- (3) ポイントガイド（平和祈念公園地域の案内等）
- (4) 戦跡案内
- (5) バス乗車による戦跡案内
- (6) その他



平和講話の講師の皆さん
(写真提供：南城市立大里中学校)

2 申込方法

別紙「派遣依頼申込書」に必要事項を記入の上、全行程を含む旅行行程表を添えて下記の事務局まで、FAXまたは郵送してください。

事務局：沖縄県平和祈念資料館友の会

所在地：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614番地の1

TEL：098-997-3844（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

FAX：098-997-3947（沖縄県平和祈念資料館と同じ）

*学校名、団体名、連絡窓口、担当者名には必ずフリガナをつけてください。

*決定通知は事務局よりFAXでお知らせします。

*電話での申込及び変更には応じられませんのでご了承ください。

3 申込条件

- (1) 申込締切は原則として2ヶ月前とします。
- (2) 平和学習の団体については事前学習を実施してください。
- (3) 協力金は次のとおりです。

内 容	協 力 金
県内学校及び地域における学習支援	1回につき 5,000円
平和講話	1回につき 15,000円
ポイントガイド	1回につき 5,000～7,000円（時間により変動）
バス乗車	1回につき 10,000円
その他	要相談

※協力金は終了後直接本人にお渡しください。

- (4) 事故に関しまして沖縄県平和祈念資料館友の会は一切責任を負いません。

4 2020（令和2）年度 平和講話・ガイド活動実績件数

団 体	実施回数（対前年）	実施人数（対前年）	派遣講師（対前年）
高 等 学 校	6件（-62件）	2,018人（-10,072）	11人（-57）
中 学 校	6件（-41件）	2,049人（-4,522）	7人（-40）
小 学 校	1件（-17件）	105人（-9,813）	1人（-17）
そ の 他	6件（-51件）	1,830人（-1,725）	6人（-151）
合 計	19件（-171件）	6,002人（-26,132）	25人（-265）

県 内：小学校1校、中学校3校、高等学校1校

県 外：小学校0校、中学校3校、高等学校5校

その他：県内3件、県外3件

キャンセル 114件

5 活動紹介

2006（平成18）年より活動を行っている平和祈念資料館友の会は、戦争体験者を中心とする会員による平和講話や戦跡の案内、地域における平和学習支援など幅広い活動を通して、本県の平和学習や平和行政へご尽力頂いております。

- (1) 2020年10月18日（日）平和ガイド学習会「首里城周辺の隠れた司令部壕を学ぶ」

講師：儀間昭男、與座章健、吉嶺全一、山田親信、大田光、仲村真

主催：沖縄県平和祈念資料館友の会 後援：養秀同窓会

参加者（80名） 会場：養秀会館

- (2) 2020年10月25日（日）

平和学習フィールドワーク「首里城周辺の埋没した戦跡壕を巡る」

主催：沖縄県平和祈念資料館友の会 後援：養秀同窓会

参加者（50名）講師：仲村真、翁長安子、吉嶺全一、牛島貞満



解説をする翁長安子さん



解説をする吉嶺全一さん



解説をする牛島貞満さん

- (3) 2020年12月4日（金）オンライン平和講話「沖縄戦と平和について」

講師：安田国重 視聴者：佐賀県基山町東明館中学校（53名）

- (4) 2020年12月18日（金）：オンライン平和講話「沖縄で平和を考える」

講師：仲村 真 視聴者：千葉県立一宮商業高等学校（158名）

- (5) 2020年12月27日（日）

南部戦跡フィールドワーク「90歳の戦争体験者・大城藤六さんの体験から学ぶ」

講師・案内者：大城藤六 集合場所：糸満市真壁公園 参加者：（35名）

主催：沖縄市平和ガイドネットワーク・中部支部平和教育研究会

共催：沖縄県平和資料館友の会

- (6) 2021年1月23日（土）

講演学習会「沖縄戦体験のねつ造・歴史教科書改ざんの実態とその背景」

講師：石原昌家氏（沖縄国際大学名誉教授）

会場：平和祈念資料館 平和祈念ホール

参加者：64名

主催：沖縄県平和祈念資料館友の会

共催：沖縄市平和ガイドネットワーク



講師の石原昌家氏

- (7) 2021年1月28日（木）オンライン平和講話「少女の見た沖縄戦」

講師：上原美智子 視聴者：同志社女子中学校高等学校（300名）

- (8) 2021年3月19日（金）オンライン平和講話「少女の見た沖縄戦」

講師：上原美智子 視聴者：神戸大学附属中等教育学校（280名）

Ⅺ 関係条例・規則・要綱

1 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（昭和49年沖縄県条例第30号）の全部を改正する。

〔設置〕

第1条 第二次世界大戦で貴い命を失ったすべての人々に哀悼の意を表すとともに、悲惨な戦争の教訓を後世に伝え、世界の恒久平和の実現に寄与するため、沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）及び平和の礎を設置する。

2 平和祈念資料館に分館として八重山平和祈念館を置く。

〔位置〕

第2条 平和祈念資料館（分館を除く。）及び平和の礎の位置は、糸満市字摩文仁とする。

2 八重山平和祈念館の位置は、石垣市新栄町とする。

〔事業〕

第3条 平和祈念資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 沖縄戦及び平和に関する資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 沖縄戦に関する調査及び研究に関すること。
- (3) 沖縄戦における戦争体験の継承に関すること。
- (4) 平和に関する講演会、学習会等の平和を考える場の提供に関すること。
- (5) その他設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

〔平和祈念資料館の利用の禁止又は制限〕

第4条 知事は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、平和祈念資料館への入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 資料又は建物若しくは附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔観覧料〕

第5条 平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納めなければならない。

2 平和祈念資料館において特別に展示する資料等を観覧させる場合の当該資料を観覧する者は、前項の規定にかかわらず、500円を超えない範囲内でその都度知事が定める額の観覧料を納めなければならない。

3 前2項の観覧料は、観覧の際に納めなければならない。

〔使用の許可〕

第6条 別表第2に掲げる平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を使用しようとする者は、あらかじめ知事の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「使用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 知事は、施設等の管理上必要と認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 知事は、第1項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、許可をしないことができる。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 公益を害するおそれがあるとき。

- (3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があるとき。

〔使用料〕

第7条 使用者は、別表第2に定める使用料を納めなければならない。

2 前項の使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、後納することができる。

〔観覧料又は使用料の減免〕

第8条 知事は、特別の理由があると認めるときは、観覧料又は使用料を減額し、又は免除することができる。

〔観覧料及び使用料の不還付〕

第9条 既に納付した観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。

〔使用権の譲渡等の禁止〕

第10条 使用者は、施設等を使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

〔許可の取消し等〕

第11条 知事は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消し、又は施設等の使用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第6条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

〔原状回復義務〕

第12条 使用者は、施設等の使用が終了したとき、又はその使用の許可が取り消されたときは、直ちにこれを原状に回復して返還しなければならない。

〔平和の礎の管理〕

第13条 平和の礎の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号。以下「法」という。）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事の指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

〔指定管理者の業務〕

第14条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第18条の規定による利用の禁止又は制限に関する業務
- (2) 平和の礎の工作物及び附属設備の維持及び修繕に関する業務
- (3) 前2号に掲げるもののほか、平和の礎の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

〔指定管理者の指定の申請〕

第15条 第13条の規定による指定を受けようとするものは、規則で定める申請書に事業計画書その他規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、知事に提出しなければならない。

〔指定管理者の指定〕

第16条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に平和の礎の管理を行うことができると認められるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、平和の礎の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、平和の礎の設置目的を達成するために十分な能力を有するもので

あること。

〔指定管理者の指定等の告示〕

第17条 知事は、前条の規定により指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

〔平和の礎の利用の禁止又は制限〕

第18条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するものに対し、平和の礎の観覧を拒否することができる。

- (1) 工作物又は附属設備をき損するおそれがある者
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗に反する行為を行うおそれがある者
- (3) 他人に危害を及ぼし、又は他人に迷惑になる物品若しくは動物の類を携帯する者
- (4) 前3号に掲げる者のほか、利用させることが適当でない者

〔損害の賠償等〕

第19条 平和祈念資料館の資料若しくは建物若しくは附属設備又は平和の礎の工作物若しくは附属設備を汚損し、損傷し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又は相当の代価をもって賠償しなければならない。ただし、知事がやむを得ない理由があると認めるときは、これを減額し、又は免除することができる。

〔事業報告書の提出〕

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、知事に提出しなければならない。

〔運営協議会〕

第21条 平和祈念資料館の運営に関する重要事項について協議するため、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）を置く。

2 運営協議会の組織、運営その他必要な事項は、規則で定める。

〔規則への委任〕

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成31年3月29日一部改正（令和元年10月1日施行）

別表第1（第5条関係）

区 分		観 覧 料	
		個 人	20人以上の団体
平和祈念資料館 (分館を除く)	大 人	300円	1人につき 240円
	小 人	150円	1人につき 100円
八重山平和祈念館	大 人	100円	1人につき 70円
	小 人	50円	1人につき 35円

備考

- 1 この表において「大人」とは、学生を除く成年者をいう。
- 2 この表において「小人」とは、学齢に達しない者を除く未成年者又は学生をいう。

別表第2（第7条関係）

1 施設使用料

区 分	単 位	使 用 料	
平和祈念資料館 (分館を除く)	ホ ー ル	1時間につき	1,570円
	展 示 室	1日につき	4,540円
	大会議室	1時間につき	620円
	中会議室	1時間につき	430円
	小会議室	1時間につき	190円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

2 附属設備使用料

種 別	単 位	使 用 料
舞台器具	1回1点又は一式につき	700円以内で知事が定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	500円以内で知事が定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	460円以内で知事が定める額
そ の 他	1回1点又は一式につき	1,260円以内で知事が定める額

備考

- 1 許可された使用時間を超過して使用する場合は、追加使用料を徴収する。この場合において、当該超過して使用した時間が1時間未満であるとき又は当該使用時間に1時間未満の端数があるときは、その使用時間又はその端数時間を1時間として計算する。
- 2 ホールを練習、準備のため専用して使用する場合の使用料の額は、この表の区分に従い、当該区分に定める額の100分の30に相当する額とする。
- 3 1及び2において算出された使用料の額に10円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。
- 4 施設の冷房を使用する場合は、その実費に相当する額を使用料として別に徴収する。

2 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則

沖縄県立平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関する規則（昭和49年沖縄県規則第57号）の全部を改正する。

〔趣旨〕

第1条 この規則は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例（平成12年沖縄県条例第11号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

〔開館時間〕

第2条 沖縄県平和祈念資料館（以下「平和祈念資料館」という。）の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、平和祈念資料館に展示している資料等の観覧のための展示室への入室は午後4時30分までとする。

2 知事は、特別の理由があると認めるときは、前項に規定する開館時間外においても平和祈念資料館を使用させることができる。

〔休館日〕

第3条 平和祈念資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、第1号に規定する休館日は、八重山平和祈念館に限る。

- (1) 定期休館日 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（元日を除く。）又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号、以下「慰霊の日を定める条例」という。）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日を除く。）

(2) 年始休館日 1月1日から同月3日まで

(3) 年末休館日 12月29日から同月31日まで

(4) 臨時休館日 特別の事情により知事が休館を必要と認めた日

2 前項第4号の臨時休館日は、あらかじめ公告するものとする。ただし、天災地変その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。

〔観覧券の交付〕

第4条 知事は、平和祈念資料館に展示している資料等を観覧しようとする者が、条例別表第1に定める観覧料を納付した場合は、観覧券（第1号様式）を交付するものとする。

〔観覧料の免除〕

第5条 次の各号のいずれかに該当する場合は、条例第8条の規定により、観覧料を免除する。

(1) 慰霊の日を定める条例第2条に規定する慰霊の日に観覧する場合

(2) 沖縄県内の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒及び教職員で、教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合

(3) 平和祈念資料館の広報宣伝に資すると認められる取材のために観覧する場合

(4) 身体障害者福祉法（昭和24法律第283号）第15条第4項の規定に基づいて身体障害者手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定に基づいて精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者が観覧する場合

(7) 前6号に掲げるもののほか、知事が特に必要と認める場合

2 前項第2号、第3号及び第7号の規定により、観覧料の免除を受けようとする者は、観覧料免除申請書（第2号様式）を知事に提出し、承認を受けなければならない。

3 第1項第4号、第5号及び第6号に該当する者が観覧料の免除を受けようとするときは、身体障害者手帳又は療育手帳若しくは精神障害者保健福祉手帳を提示しなければならない。

〔使用許可の申請〕

第6条 条例第6条第1項の規定により、平和祈念資料館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）の使用許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館使用許可申請書（第3号様式）を知事に提出しなければならない。

2 前項の申請書は、ホールについては使用しようとする日（引き続き2日以上使用する場合は、その最初の日。以下同じ。）の6月前から1週間前まで、ホール以外の施設については使用しようとする日の3月前から3日前までの期間内に提出しなければならない。

3 知事は、前項の規定にかかわらず、必要があると認めるときは、前項に定める期間を変更することができる。

〔使用許可書の交付〕

第7条 知事は、使用許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用許可書（第4号様式、以下「使用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。

〔使用許可の変更又は取消し〕

第8条 使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、使用許可を得た事項を変更しようとするときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可申請書（第5号様式）に使用許可書を添えて、知事に提出しなければならない。

2 知事は、使用の変更の許可をしたときは、沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書（第6号様式）を使用者に交付するものとする。

3 使用者は、使用の取消しをしようとするときは、使用許可書（前項の沖縄県平和祈念資料館使用変更許可書を含む。）を添えて、沖縄県平和祈念資料館使用取消届（第7号様式）を知事に提出し

なければならない。

〔附属設備等の使用料〕

第9条 条例別表第2第2号の表に規定する知事が定める額及び同表備考4の規定により実費に相当する額を使用料として別に徴収する額は、別表のとおりとする。

〔使用料の納付〕

第10条 平和祈念資料館の施設使用料は、使用許可書の交付を受ける際に、納付しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 平和祈念資料館の附属設備使用料は、知事が定める日までにその全額を納付しなければならない。
3 条例第7条第2項ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとする。

- (1) 条例別表第2備考1に規定する使用料を納付するとき。
- (2) 国又は地方公共団体が使用するとき。
- (3) 知事がやむを得ないと認めるとき。

〔使用料の返還〕

第11条 条例第9条ただし書に規定する知事が特別の理由があると認めるときは、次の各号に掲げるときとし、返還する使用料の額は、当該各号に定める額とする。

- (1) 天災その他使用者の責めに帰すことができない事情により使用できなかったとき。 当該使用料の全額
 - (2) 使用者が、ホールを使用しようとする日前30日までに使用の取消しを届け出たとき。 当該使用料の5割。
 - (3) 使用者が、ホール以外の施設を使用しようとする日前15日までに使用の取消しを届け出たとき。 当該使用料の5割。
- 2 条例第9条ただし書の規定により使用料の返還を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料返還申請書（第8号様式）を知事に提出しなければならない。

〔使用料の減免〕

第12条 条例第8条の規定により使用料を減額し、又は免除することができる場合は、次の各号に掲げるときとし、当該各号に定めるとおり減額し、又は免除するものとする。

- (1) 沖縄県が使用するとき。 免除
 - (2) 国又は地方公共団体若しくは公共的団体（以下「国等」という。）が、沖縄県と共催し、平和に関する事業を行うために使用するとき。 免除
 - (3) 国等が、平和に関する事業を行うために使用するとき。 5割
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、知事が特に必要があると認めるとき。 知事が定める割合
- 2 条例第8条の規定により使用料の減額又は免除を受けようとする者は、沖縄県平和祈念資料館使用料減免申請書（第9号様式）を知事に提出しなければならない。
- 3 知事は、使用料の減額又は免除を承認したときは、沖縄県平和祈念資料館使用料減免承認書（第10号様式）を使用者に交付するものとする。

〔使用方法等の事前打合わせ〕

第13条 使用者は、事前に係員と施設等の使用方法、遵守事項その他必要事項を打ち合わせなければならない。

〔使用者の遵守事項〕

第14条 使用者は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 使用を許可されていない施設等を使用しないこと。
- (2) 入場者の安全確保の措置を講ずること。
- (3) 入場者の秩序を維持するため、責任者を置き、及び必要に応じて整理員を置くこと。
- (4) 施設等は、善良なる管理者の注意をもって管理すること。

〔行為の制限〕

第15条 使用者又は入場者は、平和祈念資料館において、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 火災、爆発その他危険を生じるおそれのある行為
- (2) 騒音又は大声を発し、暴力を用い、その他他人の迷惑になる行為
- (3) 施設等を汚損し、損傷し、若しくは滅失し、又はこれらのおそれのある行為
- (4) 許可を受けないで行う広告類の掲出又は配布
- (5) 許可された場所以外の場所への立入り
- (6) 所定の場所以外の場所での飲食又は喫煙
- (7) 許可を受けないで寄附金品を募集し、又は物品若しくは飲食物を販売し、若しくは提供する行為
- (8) 前各号に掲げるもののほか、知事が不相当と認める行為

〔損傷等の届出〕

第16条 使用者は、その使用に際し、施設等を汚損し、損傷し、又は滅失したときは、直ちにその旨を係員に届け出て、その指示を受けなければならない。

〔使用後の点検〕

第17条 使用者は、施設等の使用を終えたときは、係員の点検を受けなければならない。

〔寄贈及び寄託〕

第18条 知事は、戦争及び平和に関する資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、あらかじめ資料寄贈申込書（第11号様式）又は資料寄託申請書（第12号様式）を提出しなければならない。
- 3 前項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返還しない。

〔受領証の交付〕

第19条 知事は、前条第1項の規定により寄託を受けたときは、寄託者に対し、寄託物受領証（第13号様式）を交付するものとする。

〔寄託資料の保管〕

第20条 第18条第1項の規定により寄託された資料の管理は、平和祈念資料館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

〔寄託資料の返還〕

第21条 寄託資料は、寄託期間の終了、寄託者の請求又は平和祈念資料館の都合により返還できるものとする。

- 2 寄託者は、前項の規定により寄託資料を返還する場合は、寄託物受領証も同時に返付しなければならない。

〔資料の貸出〕

第22条 知事は必要と認めたときは、条件を付して資料の館外貸出しを許可することができる。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、あらかじめ資料貸出申請書（第14号様式）を知事に提出しなければならない。

〔許可証の交付〕

第23条 知事は、資料の館外貸出しを許可した場合は、資料貸出許可証（第15号様式）を交付するものとする。

〔貸出資料の保管〕

第24条 第22条第1項の規定により貸出しを受けた資料（以下「貸出資料」という。）は、貸出しを受けた者（以下「利用者」という。）が責任をもって保管しなければならない。

〔貸出資料の返還〕

第25条 利用者は、貸出期間が終了したときは、貸出資料を速やかに返還しなければならない。

- 2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出期間中といえども返還させることができる。

3 利用者は、前2項の規定により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

〔指定管理者の指定申請書等〕

第26条 条例第15条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書(第16号様式)によるものとする。

2 条例第15条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。

- (1) 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市町村長が発行するものに限る。）
- (3) 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
- (4) 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）
- (5) 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

〔事業報告書〕

第27条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 平和の礎の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 前2号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

〔運営協議会の組織等〕

第28条 条例第21条に規定する沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）は、委員15人以内をもって組織する。

- 2 委員は、学識経験者、教育関係者等のうちから知事が委嘱し、又は任命する。
- 3 運営協議会の委員の任期は2年とし、補欠の委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 運営協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 5 会長は運営協議会を代表し、会務を総理する。
- 6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 7 運営協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 8 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 9 会議は公開とする。ただし、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。
- 10 運営協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 11 運営協議会の委員は職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 12 運営協議会の庶務は、平和祈念資料館において処理する。
- 13 その他運営協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

〔補則〕

第29条 この規則に定めるもののほか、平和祈念資料館及び平和の礎の管理に関し必要な事項は、知事が別に定める。

備考

平成12年3月31日全部改正（平成12年4月1日施行）、平成17年10月26日一部改正（平成18年4月1日施行）平成18年3月31日一部改正（平成18年4月1日施行）、平成19年3月23日一部改正（平成19年4月1日施行）、令和元年9月13日一部改正（令和元年10月1日施行）

別表（第9条関係）

1 附属設備使用料

種 別	品 目	単 位	使 用 料		
ホ ー ル	舞台器具	演台	1台	300円	
		司会者卓	1台	150円	
		花台	1台	100円	
		金びょうぶ	1双	700円	
	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円	
		ワイヤレスマイク	1本	450円	
		カセットテープレコーダー	1台	300円	
		CDプレーヤー	1台	500円	
		ビデオデッキ（VHS）	1台	500円	
		レーザーディスクプレーヤー	1台	500円	
	照明器具	ボーダーライト（150W×48灯）	1列	250円	
		サスペンションライト（500W×12台）	1列	300円	
		シーリングスポットライト（500W×15台）	1列	460円	
		アッパーホリゾントライト（150W×60灯）	1列	360円	
		ロアーホリゾントライト（150W×60灯）	1列	300円	
		フットライト（60W×48灯）	1列	100円	
		フォロースポットライト（1KW）	1式	100円	
	その他	映写機16mm	1台	1,260円	
		スライドプロジェクター	1台	520円	
	会議室	音響器具	ダイナミックマイク	1本	230円
			ワイヤレスマイク	1本	450円
カセットテープレコーダー			1台	300円	
CDプレーヤー			1台	400円	
ビデオデッキ（VHS）			1台	400円	
その他		ビデオプロジェクター	1台	1,260円	
		オーバーヘッドプロジェクター	1台	520円	
展示室	その他	展示ケース（大）	1台	1,000円	
		展示ケース（小）	1台	500円	

備考 ホール及び会議室の附属設備使用料は、1ステージごとに徴収する。ただし、長時間連続して使用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 施設冷房使用料

区 分	単 位	使 用 料	
平和祈念資料館 （分館を除く）	ホ ー ル	1時間につき	2,120円
	展 示 室	1時間につき	890円
	大会議室	1時間につき	700円
	中会議室	1時間につき	460円
	小会議室	1時間につき	110円
八重山平和祈念館	展 示 室	1時間につき	100円

3 八重山平和祈念館部会の設置及び運営に関する要綱

〔設置〕

第1条 沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則（平成12年沖縄県規則第87号）第28条第13項の規定により、沖縄県平和祈念資料館運営協議会（以下「運営協議会」という。）に、八重山平和祈念館部会（以下「部会」という。）を設置する。

〔任務〕

第2条 部会は、八重山平和祈念館の運営に関する重要事項について調査、審議し、その結果を運営協議会に報告する。

〔構成〕

第3条 部会は、運営協議会副会長を部会長とする3人の運営協議会の委員（以下「部会委員」という。）で構成する。

2 部会委員は、運営協議会で選任する。

3 部会委員の任期は、運営協議会の委員の在任期間とする。

〔部会長〕

第4条 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。

2 部会長に事故があるときは、部会長があらかじめ指名した部会委員がその職務を代理する。

〔会議〕

第5条 部会は、部会長が招集する。

2 部会は、必要があると認めるときは、部会に専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

3 会議は、公開とする。ただし、出席した者の3分の2以上の多数で議決したときは、公開しないことができる。

〔秘密の保持〕

第6条 部会委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

〔補 則〕

第7条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要綱は、平成12年12月6日から施行する。

4 沖縄県平和祈念資料館資料貸出要項

(目的)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館(以下「資料館」という。)の所蔵する資料(以下「貸出資料」という。)の館外貸出しを許可するにあたって必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項において、貸出資料とは沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオをいう。各資料の内容については次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料とは、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則(以下「規則」という。)第22条で定める資料であり、実物資料20種類をいう(別紙1)。
- (2) 沖縄戦写真パネルとは、写真の複製パネルをいう(別紙2)。
- (3) 沖縄戦の絵パネルとは、日本放送協会から寄贈された沖縄戦体験者が描いた絵の複製パネルをいう(別紙3)。
- (4) 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネルとは、資料館が毎年主催している児童・生徒の平和メッセージ展の作文、詩及び図画部門において最優秀賞及び優秀賞として入賞した作品をいう。
- (5) 世界人権宣言絵画パネルとは、当館が制作した世界人権宣言に関する絵画パネルをいう(別紙4)。
- (6) 平和のウムイ地域版セットとは、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により制作したDVD及びパネル、証言集をいう(別紙5)。
- (7) 平和学習キットとは、学校等で活用される平和学習の教材としての貸し出しキットの複製資料及びパネル、絵本、紙芝居をいう(別紙6)。
- (8) 戦争体験証言ビデオとは、沖縄戦体験者の証言を収録し複製したビデオ及びDVD、集団疎開及び捕虜収容所での様子を収録し複製したビデオ及びDVD、「子や孫につなぐ平和のウムイ事業」により証言を収録し複製したDVDをいう。

(貸出許可の申請)

第3条 資料の館外貸出しの許可を受けようとする者(以下「申請者」という。)は、資料貸出申請書により、沖縄県平和祈念資料館長(以下「資料館長」という。)に申請しなければならない。申請書の様式については、次の各号に定めるところによる。

- (1) 沖縄戦実物資料 規則第22条に定める資料貸出申請書(第14号様式)
- (2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ展入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル 沖縄県平和祈念資料館資料貸出申請書(第1号様式)
- (3) 平和のウムイ資料 平和のウムイ資料貸出申請書(第2号様式)
- (4) 平和学習キット 平和学習キット貸出申請書(第3号様式)
- (5) 戦争体験証言ビデオ 戦争体験証言ビデオ貸出申請書(第4号様式)

2 申請者は、貸出日の2週間前までに資料貸出申請書を提出しなければならない。

3 申請者は、申請の際に身元確実な保証人がいなければならない。ただし、申請者が地方公共団体等の代表者である場合にはその限りではない。

4 申請者は、あらかじめFAXで申請を行い、後日原本を送付するものとする。

(貸出の許可)

第4条 資料の貸出は、資料館が適切と認める公共団体及び任意団体が、沖縄戦の実相又は教訓を伝え、平和の発信に資する学習又は展示活動等で使用することに対して許可する。

2 戦争体験証言ビデオについては、個人が沖縄戦に関する学習を目的に申請する場合には、許可することができる。

(許可証の交付)

第5条 資料館長は、申請を受けて資料の貸出を許可したときには、申請者に対し、貸出許可証を交付する。許可証については次の各号に定めるところによる。

(1) 沖縄戦実物資料 規則第23条の資料貸出許可証(第15号様式)

(2) 沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネル、平和のウムイ地域版セット、平和学習キット、戦争体験証言ビデオ 沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証(第5号様式)

2 前項の許可証には条件を付することができる。

(貸出期間)

第6条 館外への貸出期間は、平和のウムイ地域版セット及び平和学習キット、戦争体験証言ビデオについては最長で2週間、それ以外については最長で1ヶ月とする。ただし、資料館長が必要であると判断した場合にはその限りではない。

(貸出数量)

第7条 一度の申請において、貸出可能な数量は次の各号に定める。

(1) 沖縄戦実物資料、沖縄戦写真パネル、沖縄戦の絵パネル、児童・生徒の平和メッセージ入賞作品パネル、世界人権宣言絵画パネルについては、20点以内とする。

(2) 平和のウムイ地域版セット及び平和学習キットについては、2点以内とする。

(3) 戦争体験証言ビデオについては、5本以内とする。

(費用負担)

第8条 資料の貸出及び返却に要する費用は、全て申請者がこれを負担する。

(貸出資料の保管及び禁止事項等)

第9条 第4条第2項の規定により貸出しを受けた資料(以下「貸出資料」という。)は、貸出を受けた者(以下「利用者」という。)が、責任をもって保管しなければならない。

2 利用者は、貸出資料を貸出申請理由以外の目的で使用してはならない。

3 利用者は、貸出資料を他人に譲渡または貸与してはならない。

4 利用者は、貸出資料の複製または原型に変形を加えてはならない。

5 利用者は、貸出資料を紛失し、または著しく汚損し、もしくはき損した場合は、これを原型に復し、または相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。

(貸出資料の返還)

第10条 利用者は、貸出資料を貸出期限内に確実に返還しなければならない。

2 貸出資料は、平和祈念資料館の都合により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。

3 利用者が貸出資料を期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。

4 利用者が貸出資料を返還する際の輸送方法は、原則として、専門的技量を有する輸送業者扱いとすること。

(報告書の提出について)

第11条 利用者は、貸出資料の利用状況について、貸出資料利用報告書(第6号様式)を提出しなければならない。ただし、戦争体験証言ビデオについてはその限りではない。

(許可の取り消し)

第12条 資料館長は、利用者がこの要項に違反したとき、または許可証に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取消により生じた損害については、沖縄県及び資料館はその責を負わない。

附 則

この要項は平成29年4月1日から施行する。

平和祈念資料館資料貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：
(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名： 印

電話番号：

沖縄県平和祈念資料館の資料について、貸出しを申請します。

種 別	沖縄戦の写真パネル ・ 沖縄戦の絵複製パネル 児童・生徒の平和メッセージ入賞作品 ・ 世界人権宣言パネル
資料名	
数 量	点 (20点以内)
期 間	令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで
申請理由	

- I 概 要
- II 事 調 査 研 究 業 務
- III 事 展 示 企 業 画
- IV 活 資 料 収 集 業 務
- V 事 教 育 普 及 業 務
- VI 出 広 報 活 動 等
- VII 事 其 他 業 務
- VIII 入 館 者 状 況
- IX 祈 八 重 山 平 和 館
- X 活 友 動 の 報 告 会
- XI 規 則 ・ 要 綱
- XII 入 館 度 状 況 別

<別紙>

貸出申請資料明細

NO	種 別	資 料 名	数	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		

平和のウムイ地域版セット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：
(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名： 印

電話番号：

子や孫のつなぐ平和のウムイ地域版セットについて、貸出しを申請します。

資料名	希望する地域版セットに○をつけて下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・北部地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 6 点、証言集 6 点) () ・中部地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 6 点、証言集 6 点) () ・那覇 (南部) 地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・久米島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・宮古島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 1 点、証言集 1 1 点) () ・石垣島地区セット (DVD 1 枚、写真パネル 1 2 点、証言集 1 2 点) ()
数 量	セット (2セット以内)
期 間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする (借用及び返却の日を含む)
申請理由	(申請理由の記入欄)

- I 概 要
- II 事 調 査 研 究 業 務
- III 事 展 示 企 業 画
- IV 活 資 料 収 集 業 務
- V 事 教 育 普 及
- VI 出 広 報 版 活 動 等
- VII 事 其 他 業 務
- VIII 入 館 者 状 況
- IX 祈 八 重 山 平 和 館
- X 活 友 動 の 報 告 会
- XI 規 則 ・ 要 綱
- XII 入 年 館 度 状 況 別

平和学習キット貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：
(担当者：)

保 証 人

住 所：〒

氏 名： 印

電話番号：

平和学習キットについて、貸出しを申請します。

資料名	希望するキットに○をつけて下さい。 ・平和学習キットA「戦争とくらし」19点 () ・平和学習キットB「沖縄戦の記憶」20点 () ・平和学習キットC「沖縄戦の記録写真」30点 () ・平和学習キットD「みんななかよく」絵本1点・紙芝居2点 ()
数 量	セット (2セット以内)
期 間	令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする(借用、返却の日を含む)
申請理由	

戦争体験証言ビデオ貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館長 殿

住 所：〒

団体名：

氏 名： 印

電話番号：

(担当者：)

戦争体験証言ビデオについて、貸出しを申請します。

種 別	希望するビデオの番号を記入して下さい。 ・ 沖縄戦体験証言ビデオ () ・ 平和のウムイDVD () ・ 日系二世がみた戦中・戦後DVD () ・ 戦争体験者証言多言語吹き替え映像「DVD 1名収録」 1枚で貸出 () ・ 住民の見た 沖縄戦証言「多言語ブルーレイディスク70名収録」 2枚1組(セット)で貸出 ()
本 数	本 (5本以内を原則とする)
期 間	令和 年 月 日 () から令和 年 月 日 () まで *期間：2週間以内を原則とする
申請理由	

- I 概 要
- II 事 調 査 研 究 業 務
- III 事 展 示 企 業 画
- IV 活 資 料 収 集 業 務
- V 事 教 育 普 業 及
- VI 出 広 報 版 活 動 等
- VII 事 所 他 業 務
- VIII 入 館 者 状 況
- IX 祈 八 重 山 平 和 館
- X 活 友 動 の 報 告 会
- XI 規 則 係 条 例 要 綱
- XII 入 年 館 度 状 況 別

沖縄県平和祈念資料館資料貸出許可証

令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館
館長 印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	
数 量	点
資 料 名	
用 途	
貸出期間	令和 年 月 日 () から 令和 年 月 日 () まで
貸出条件	<ol style="list-style-type: none"> 1 貸出資料は、貸出申請者が責任をもって保管しなければならない。 2 貸出申請者は、貸出資料を申請理由以外の目的で使用しないこと。 3 貸出申請者は、貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。 4 貸出申請者は、貸出資料を複製又は原形に変更を加えてはならない。 5 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。 6 貸出申請者は貸出資料を貸出期限内に返還しなければならない。 7 平和祈念資料館の都合により、貸出資料を返還する場合、資料貸出許可証も同時に返付しなければならない。 8 貸出申請者は、貸出資料を貸出期限内に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。 9 貸出申請者は、貸出資料を返還する際には、専門的技量を有する輸送業者にて輸送しなければならない。 10 貸出申請者は、貸出資料の利用状況について、沖縄県平和祈念資料館利用報告書（第6号様式）を提出しなければならない。

<別紙>

貸出許可資料明細

NO	資料種別	資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合 計		

貸出資料利用状況報告書

沖縄県平和祈念資料館長 殿

日 時 令和 年 月 日
 団体名
 代表者
 住 所 〒
 電 話
 担当者

次のとおり、沖縄県平和祈念資料館貸出資料の利用状況を報告します。

利用目的 (行事名等)			
借用期間	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()		
利用場所		利用者数 (参観者数)	
借用資料	1 沖縄戦実物資料	(点)	
	2 沖縄戦写真パネル	(点)	
	3 沖縄戦の絵パネル	(点)	
	4 児童・生徒の平和メッセージ作品	(点)	
	5 世界人権宣言パネル	(点)	
	6 平和のウムイ地域版セット	(セット)	
	7 平和学習キット	(セット)	
利用状況 および感想			

*利用状況写真、参考資料などがあれば添付し、資料返却時または返却後1週間以内にファックスか郵送で送付して下さい。

送付先：沖縄県平和祈念資料館 〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁614番地の1
 TEL：098-997-3844 FAX：098-997-3947

資料貸出申請書

令和 年 月 日

沖縄県知事 殿

申請者

住所
氏名
電話番号

保証人
住所
氏名
電話番号

沖縄県平和祈念資料館（分館を除く）

の資料について、貸出しを申請します。

八重山平和祈念館

種別	
数量	
規格	
用途	
保管期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
貸出申請理由	

- I 概 要
- II 事 調 査 研 究 業 務
- III 事 展 示 企 業 画
- IV 活 資 料 収 集 業 務
- V 事 教 育 普 業 及
- VI 出 広 報 活 動 等
- VII 事 其 他 業 務
- VIII 入 館 者 状 況
- IX 祈 八 重 山 平 和 館
- X 活 友 動 の 報 告 会
- XI 規 則 ・ 要 例 ・ 要 綱
- XII 入 館 度 状 況 別

資料貸出許可証

令和 年 月 日

殿

沖縄県知事 印

令和 年 月 日付け、資料貸出申請のあった資料について、条件を付して許可します。

種 別	沖縄戦実物資料
数 量	点
規 格	
用 途	
貸出期間	令和 年 月 日（ ）から 令和 年 月 日（ ）まで
貸出条件	<ol style="list-style-type: none"> 1 目的以外に使用しないこと。 2 貸出資料を他人に譲渡し、又は貸与してはならない。 3 貸出申請者は、貸出資料の原型に変更を加えてはならない。 4 貸出申請者は、貸出資料を滅失し、又は著しく汚損し、若しくはき損した場合は、これを原形に復し、又は相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。 5 貸出資料を貸出期限に返還できなかった場合は、遅延理由書を提出しなければならない。

I 概
 要
 II 事 調 査 研 究 業 務
 III 事 展 示 企 業 画
 IV 活 資 料 収 集 業 務
 V 事 教 育 普 及 業 務
 VI 出 広 報 活 動 等
 VII 事 其 他 業 務
 VIII 入 館 者 状 況
 IX 祈 八 重 念 山 平 和 館
 X 活 友 動 の 報 告 会
 XI 規 則 係 条 例 要 綱
 XII 入 館 度 状 況 別

<別紙①>

貸出許可資料明細

殿

沖縄県知事 印
(沖縄県平和祈念資料館)

NO	資料名	実物資料名	数	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
		合計		

5 沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項

(趣旨)

第1条 この要項は、沖縄県平和祈念資料館及び平和の礎の設置及び管理に関する条例施行規則第22条に基づき、沖縄県平和祈念資料館（以下「資料館」という。）の保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用（以下「利用等」という。）の許可に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要項における用語の意義は次の各号に定めるところによる。

- (1) 資料 資料館が保管する原資料等および写真資料をいう。
また資料館の建物自体の内外観もこれに含むものとする。
 - (2) 撮影 資料を被写体として撮影した静止画（スチル写真）や動画（映画、テレビ、ビデオ等）を記録することをいう。
 - (3) 複製 資料を被写体として、複写、印刷物、レプリカ等を作成することをいう。
 - (4) 掲載 資料の複製を紙媒体に掲載することをいう。
 - (5) 放映 資料の複製を電子媒体で放映することをいう。
 - (6) 利用 講演会、朗読会、コンサートなどにおいて資料を利用することをいう。
- 2 第1項の第1号及び第3号については、資料館が保管する電子データを提供することを含むものとする。

(許可の基準)

第3条 資料館長（以下「館長」という。）は、沖縄戦の実相を伝え、平和の構築に資する使用であると認めた場合において資料の利用等を許可する。

2 次の各号に掲げる事項にあたる場合は許可しない。

- (1) 資料の保存上、悪影響の生ずる可能性がある場合。
- (2) 営利目的等、対価を得て、一部もしくは限られた範囲のみの使用が認められる場合。
- (3) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
- (4) 過去に許可条件に違反した事実があると認められる場合。
- (5) その他、資料館の設立理念と合致しないなど許可することが適当でないと認められる場合。

(許可申請)

第4条 資料の利用等の許可を希望する者（以下「申請者」という。）は、沖縄県平和祈念資料館保管資料等の撮影・複製・掲載・放映・利用許可申請書（第1号様式）に事業の趣旨や主体者、事業内容を記載した企画書等を添付して館長に利用開始14日間前までに、申請しなければならない。ただし申請期日については館長が特に認める場合において、この限りではない。

(審査および決定)

第5条 前条の規定による申請があった場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

- (1) 事業の趣旨および内容
- (2) 事業の主体者
- (3) その他必要な事項

(許可書の交付)

第6条 館長は、資料の利用等を許可する決定を行ったときは、申請者に対し沖縄県平和祈念資料館保管資料等の撮影・複製・掲載・放映・利用許可書(第2号様式)を交付するものとする。

2 館長は、必要と認められる場合は、許可書に条件を付することができる。

(報告書の提出)

第7条 申請者は資料の利用等の完了後、速やかに使用状況報告書(第3号様式)に成果品を添えて、資料館に提出しなければならない。

(費用の負担)

第8条 資料の利用等に要する費用は、申請者が全てこれを負担する。

(禁止事項)

第9条 資料の利用等の許可を受けた者は次の各号に掲げる事項をしてはならない。

- (1) 申請書に記載した目的以外に使用すること。
- (2) 利用等の許可を得た資料を転貸しすること。
- (3) 資料等の使用により利益を得ること。

(許可の取り消し)

第10条 館長は、資料の利用等の許可を受けた者がこの要項に違反したとき、または許可書に付した条件に違反したときには許可を取り消すことができる。この場合において、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県および資料館はその責を負わない。

附則

この要項は平成29年4月1日から施行する。

保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可申請書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：
団体名：
(担当者名：)
住 所：
TEL：
FAX：
Email：

下記により保管資料の（ 撮影・複製・掲載・放映・利用 ）を許可くださるようお願いします。
申請にあたっては、沖縄県平和祈念資料館保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可要項の規定を遵守し、著作権等貴館の権利を侵害するような行為を行わないことを誓約いたします。

記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 （撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）
- 4 利益発生の有無 有 ・ 無
- 5 添付書類（企画書等、事業の内容がわかるもの）
- 6 提供成果品

〈注意事項〉

*申請の際には返信用封筒（切手貼付）を添えて、利用開始14日間前までに申請すること。

保管資料の撮影・複製・掲載・放映・利用許可書

沖平第 号
令和 年 月 日

殿

沖縄県平和祈念資料館
館長 印

令和 年 月 日付けで申請のあった保管資料の（ 撮影・複製・掲載・放映・利用 ）について、下記のとおり許可します。

記

1 資料名

2 用途（撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載）

3 提供成果品

*許可条件

- ①上記の目的以外に使用しないこと。
- ②資料を利用する際「沖縄県平和祈念資料館提供」と明記すること。
- ③児童・生徒平和メッセージは、作品オリジナルのスタイルを変更しないこと。
- ④写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ⑤使用目的完了後はすみやかに成果品および「使用状況報告書」を提出すること。
- ⑥資料に記載されている情報のうち個人情報の保護に十分に配慮し、違法または人権を侵害すると判断される場合には文書内容をそのまま公にしないこと。
- ⑦資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。
- ⑧前項に違反した行為があったときは、許可を取り消すことがある。この場合、許可の取り消しにより生じた損害については、沖縄県および資料館はその責を負わない。

使用状況報告書

令和 年 月 日

沖縄県平和祈念資料館館長 殿

申請者 代表者名：
団体名：
(担当者名：)
住 所：
TEL：
FAX：
Email：

令和 年 月 日付け沖平第 号で許可された保管資料の使用状況について、
下記のとおり報告いたします。

記

- 1 目的
- 2 資料名
- 3 用途 (撮影日時、掲載書籍名、書籍発行日、放映番組名、放映日などを記載)
- 4 使用完了日
- 5 提供成果品

〈備考〉

- ①利用の際を記録した写真や新聞記事、参考資料等があれば添付すること。
- ②写真データ等を使用した場合、利用の完了後、すみやかにデータを消去すること。
- ③資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。

Ⅺ 沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）年度別入館状況

年度別	有 料 観 覧												無 料 観 覧 者 数	観 覧 者 数	開 館 日 数	一 日 平 均 観 覧 者 数	備 考	
	観 覧 料 種 別						出 身 別											計
	大 人 個 人 (%)	大 人 団 体 (%)	小 人 個 人 (%)	小 人 団 体 (%)	県 内	県 外	外 国											
昭和50年度	13,784 (75)	2,025 (11)	1,759 (9)	900 (5)				18,468				18,468	248	74				
51年度	9,520 (53)	4,200 (23)	963 (5)	3,408 (19)				18,091				18,091	306	59				
52年度	10,480 (54)	4,264 (22)	818 (4)	3,932 (20)				19,494				19,494	307	72				
53年度	14,022 (40)	4,855 (14)	1,877 (5)	14,097 (41)				34,851				34,851	220	158				
54年度	22,288 (41)	6,307 (12)	3,600 (7)	21,513 (40)				53,708				53,708	305	176				
55年度	20,727 (39)	5,830 (11)	3,109 (6)	23,762 (44)	3,506	22,746	176	53,428				53,428	307	174				
56年度	20,215 (34)	5,985 (10)	3,367 (6)	29,211 (50)	33,671	24,797	310	58,778				58,778	304	199				
57年度	26,357 (36)	7,077 (10)	4,243 (6)	34,584 (48)	33,709	38,030	522	72,261				72,261	307	240				
58年度	26,359 (35)	8,051 (11)	4,827 (6)	36,272 (48)	34,795	40,029	685	75,509				75,509	307	252				
59年度	27,265 (34)	9,203 (11)	3,932 (5)	39,791 (50)	32,646	46,335	1,210	80,191				80,191	255	326				
60年度	29,888 (31)	13,263 (14)	4,701 (5)	49,073 (50)	34,993	60,371	1,561	96,925				96,925	306	326				
61年度	27,529 (27)	13,364 (13)	4,629 (5)	54,622 (55)	34,783	63,581	1,780	100,144				100,144	306	335				
62年度	40,566 (34)	14,395 (12)	5,441 (5)	57,976 (49)	33,298	83,019	2,061	118,378				118,378	306	403				
63年度	45,058 (34)	16,719 (13)	5,557 (4)	63,910 (49)	32,819	95,473	2,952	131,244				131,244	306	440				
平成元年度	35,325 (31)	14,477 (12)	7,016 (6)	59,363 (51)	27,941	84,600	3,640	116,181				116,181	307	397				
2年度	29,514 (29)	12,281 (12)	5,950 (6)	52,511 (52)	22,855	74,010	3,391	100,256				100,256	306	388				
3年度	26,687 (30)	11,246 (13)	5,279 (6)	45,409 (51)	20,182	64,938	3,501	88,621				88,621	305	320				
4年度	26,500 (32)	9,778 (12)	5,661 (7)	40,021 (49)	17,197	61,011	3,752	81,960				81,960	307	303				
5年度	22,667 (28)	11,191 (14)	5,683 (7)	41,461 (51)	15,272	62,130	3,600	81,002				81,002	310	274				
6年度	18,056 (23)	9,161 (12)	4,563 (6)	48,084 (60)	13,551	62,528	3,785	79,864				79,864	310	267				
7年度	70,319 (45)	16,676 (11)	13,837 (9)	53,282 (35)	45,214	104,854	4,046	154,114				154,114	308	525				
8年度	59,643 (39)	16,393 (11)	11,056 (7)	64,840 (43)	26,540	121,886	3,506	151,932				151,932	311	507				
9年度	62,485 (35)	13,247 (8)	10,137 (6)	91,099 (55)	20,128	153,889	2,951	176,968				176,968	310	593				
10年度	58,196 (35)	10,647 (6)	10,426 (6)	89,965 (53)	15,211	151,195	2,828	169,234				169,234	312	558				
11年度	59,654 (34)	8,367 (4)	9,952 (6)	97,464 (56)	12,128	160,724	2,585	175,437				175,437	295	611				
												2,307,039	104,723	2,411,762				

沖縄戦の真相にふれるたびに

戦争というものは

これほど残虐で、これほど汚辱にまみれたものはない
と思ふのです

この なまなましい体験の前では

いかなる人でも

戦争を肯定し美化することは、できないはずだ

戦争をおこすのは たしかに 人間です

しかし それ以上に

戦争を許さぬは奴力のできるのも

私たち 人間 下はない下しようか

戦後このかた 私たちは

あらゆる戦争を増み

平和な島を建設せねば と思いつけてきました

これが

あまりにも大きすぎた代償を払って得た

ゆずることのできない

私たちの信余なのです

(沖縄県平和祈念資料館展示むすびのことば)

沖縄県平和祈念資料館年報 第21号

2021(令和3)年10月

編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所：〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614 番地の 1

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947

URL <http://www.peace-museum.okinawa.jp/>

E-mail webmaster@peace-museum.okinawa.jp



日本平和博物館会議
ASSOCIATION OF JAPANESE MUSEUMS FOR PEACE

八重山平和祈念館(分館)

住所：〒907-0014 沖縄県石垣市新栄町 79 番地の 3

TEL / FAX 0980-88-6161

E-mail yaeyamaheiwa-mararia@basil.ocn.ne.jp

印刷：沖縄自分史センター 株式会社

住所：〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-288

TEL 098-960-4104 FAX 098-960-4105

平和祈念公園案内図

Peace Memorial Park Guide Map



沖繩工業健児之塔
Memorial for Students
of Okinawa Technical School



大型休憩舎
Large-scale Resting Facility

沖縄県平和祈念資料館
Peace Memorial Museum

韓国人慰霊塔
War Memorial
for Koreans

沖縄平和祈念堂
The Okinawa Peace Hall

子供の広場
Children's Playground

北口
North Gate

中央口
Central Gate

第2駐車場
Parking Lot

第1駐車場
Parking Lot

公園管理事務所
Park Superintendent's Office

エントランス広場
Entrance Plaza

花壇
Garden Beds

トイレ
Toilets

売店
Shops

沖縄県平和祈念財団
Okinawa Peace Memorial Foundation

平和の礎
The Cornerstone of Peace

平和の火
Flame of Peace

式典広場
Ceremony Grounds

平和の丘
Peace Hill

島守之塔
Shimomori Monument

霊域園路
Memorial Path

国立沖縄戦没者墓苑
National War Dead
Peace Mausoleum

摩文仁の丘
Mabuni Hill

多目的広場
Multi-Purpose Ground

南幹線園路
South Main Path

散策路
Walkways

樺太の碑
Karafuto Monument

台湾の塔
Taiwan Monument

木道
Board Walkways

黎明之塔
Reimei Monument

沖縄師範健児之塔
Memorial for Students
of Okinawa Education College

南口
South Gate



沖縄県平和祈念資料館
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL MUSEUM
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 614-1 電話 098-997-3844 FAX 098-997-3947

公益財団法人 沖縄県平和祈念財団
OKINAWA PREFECTURAL PEACE MEMORIAL FOUNDATION
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 444 電話 098-997-2765 FAX 098-997-2767

公益財団法人 沖縄協会 沖縄平和祈念堂
THE OKINAWA FOUNDATION THE OKINAWA PEACE HALL
〒901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 448-2 電話 098-997-3011 FAX 098-997-2678